

DIAMケイマン・トラストー Aspect マネージド・フューチャーズ・ ファンド

米ドルクラス／豪ドルクラス／円クラス

ケイマン諸島籍／オープン・エンド契約型／外国株式投資信託

運用報告書(全体版)

作成対象期間：第12期(自：2022年12月1日 至：2023年11月30日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、DIAMケイマン・トラスト(以下「トラスト」といいます。)のシリーズ・トラストであるDIAMケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド(以下「ファンド」といいます。なお、ファンドの名称について、「DIAMケイマン・トラストー」を省略することがあります。)は、このたび、第12期の決算を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

管理会社

クイーンズゲート

代行協会員

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

ファンドの仕組みは次のとおりです。

ファンド形態	ケイマン諸島籍／オープン・エンド契約型／外国株式投資信託
信託期間	ファンドは2025年11月28日に終了します*。（ただし、それ以前に繰上償還される場合があります、また、受託銀行と協議の上での管理会社の決定により、またはファンド受益者決議により、信託期間を延長する場合があります。）なお、ファンドの設定日は、2012年3月16日です。 ※管理会社において、受託銀行と協議の上、2024年6月1日を効力発生日として、ファンド終了日を2030年11月28日に変更する旨が決定されました。
運用方針	ファンドの投資目的は、厳密なリスク管理体制内で、従来の株式債券市場の全般的な変動に左右されずに、中期的な信託財産の成長を図ることです。
主要投資対象	国際的な先物契約および先渡契約（商品先物および通貨先渡しを含みます。）、債券および短期金融商品（リバースレポ取引を含みます。）ならびにその他の派生商品。
ファンドの運用方法	管理会社は、ファンド資産の投資および運用に関する業務を、投資顧問契約に基づき、投資顧問会社であるアセットマネジメントOne インターナショナル・リミテッドに委託しています。 投資顧問会社は、ファンド資産の投資および運用に関する業務を、副投資顧問契約に基づき、副投資顧問会社であるアспект・キャピタル・リミテッドに委託しています。 副投資顧問会社は、システム化され幅広く分散されたグローバルな投資プロセスを採用し、主に派生商品の活用を通じ、多様な金融商品やその他資産（株式、株価指数、債務証券（債券を含みます。）、通貨、金利および商品（エネルギー、金属および農産品を含みます。）を含みますが、これに限定しません。）の市場のトレンドを伴う動きを見極め、有効に活用するべく、多様な投資戦略を展開します。また、投資顧問会社は、ファンドについて米ドルを売却し、取引対象通貨を購入するクラス為替取引に関する業務を、為替管理契約に基づき、為替管理会社であるザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロンに委託しています。副投資顧問会社は、米ドル以外の通貨建の債券および短期金融商品へ投資する場合、投資通貨を売却し、米ドルを購入する為替取引を行う予定です。また、副投資顧問会社は、ファンドのため、投資運用から生じる米ドル以外の通貨建ての損益を、米ドルに換金する取引を日常的に実行します。
分配方針	収益分配は、投資顧問会社の裁量により行われます。 分配基準日：分配落ち日の前ファンド営業日 分配金支払日：分配落ち日から起算して原則として7ファンド営業日目以降 豪ドルクラスに関しては、分配金支払日がオーストラリア営業日*に該当しない場合、分配はオーストラリア営業日である翌ファンド営業日に支払われます。 日本における販売会社または販売取扱会社は、必要な支払処理を完了次第、投資者に対して分配金を支払います。 ※「オーストラリア営業日」とは、シドニーの銀行が営業を行う日（土曜日および日曜日を除きます。）または投資顧問会社と協議の上、管理会社が随時に決定することのできるその他の日をいいます。

目 次

	頁
1. 運用の経過および運用状況の推移等	1
2. 運 用 実 績	9
3. 純 資 産 額 計 算 書	17
4. フ ァ ン ド の 経 理 状 況	18
5. お 知 ら せ	65

(注1) 米ドルおよび豪ドルの円貨換算は、令和6年3月末日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=151.41円、1豪ドル=98.61円)によります。

(注2) ファンドは、ケイマン諸島の法律に基づいて設立されていますが、受益証券は、クラス建通貨である日本円、米ドルまたは豪ドル建てのため、本書の金額表示は別段の記載がない限り、日本円、米ドルまたは豪ドルをもって行います。

(注3) 本書の中で金額および比率を表示する場合、適宜の単位に四捨五入している場合があります。したがって、合計の数字が一致しない場合があります。また、円貨への換算は、本書の中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してあります。したがって、本書中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合もあります。

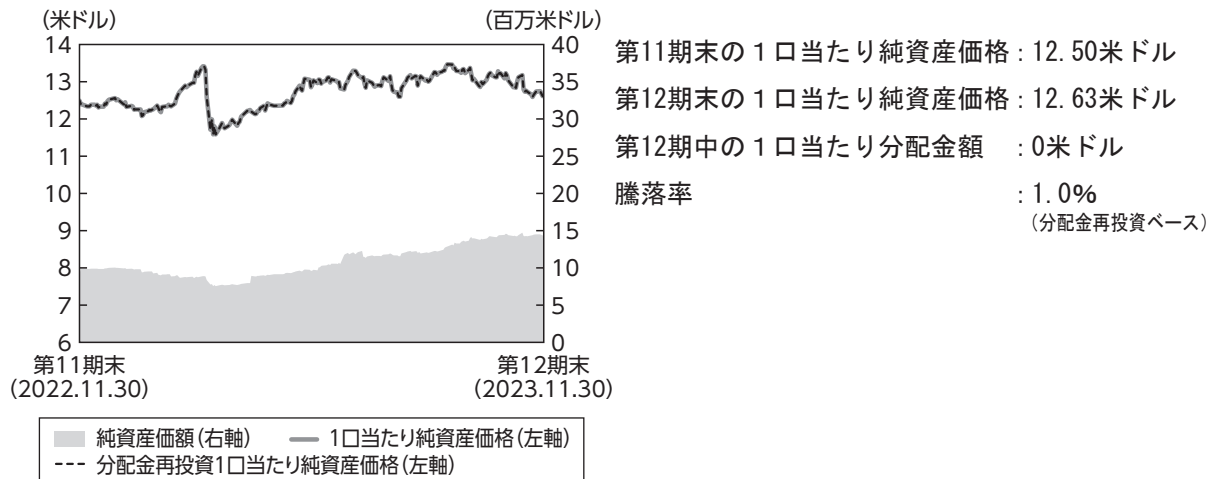
(注)「1. 運用の経過および運用状況の推移等」の1口当たり純資産価格および純資産価額は、ファンド営業日に公表された数値であり、後掲の国際財務報告基準に準拠して作成された財務書類の数値ならびに「2. 運用実績 (1) 純資産の推移」および「3. 純資産額計算書」の数値とは異なります。

1. 運用の経過および運用状況の推移等

(1) 当期の運用経過および今後の運用方針

■ 当期の1口当たり純資産価格等の推移について

米ドルクラス



(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、米ドルクラスについては、分配実績はありません。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第11期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しております。

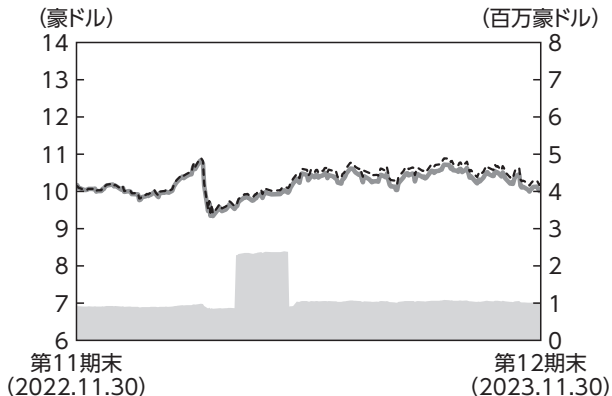
(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

期間中、当ファンドは農産物市場におけるロングポジション、通貨市場におけるユーロに対する様々なポジションなどが1口当たり純資産価格の変動におけるプラス要因となった一方、株式市場におけるロングポジション、債券市場におけるショートポジションなどがマイナス要因となりました。

豪ドルクラス



■ 純資産価額(右軸) — 1口当たり純資産価格(左軸)
 --- 分配金再投資1口当たり純資産価格(左軸)

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第11期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しております。

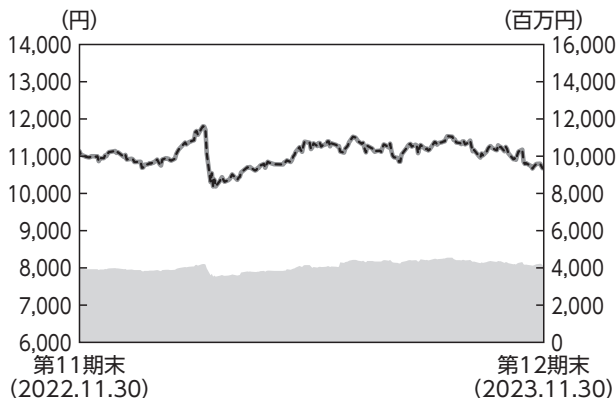
(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

期間中、当ファンドは農産物市場におけるロングポジション、通貨市場におけるユーロに対する様々なポジションなどが1口当たり純資産価格の変動におけるプラス要因となった一方、株式市場におけるロングポジション、債券市場におけるショートポジションなどがマイナス要因となりました。

円クラス



第11期末の1口当たり純資産価格：11,129円

第12期末の1口当たり純資産価格：10,691円

第12期中の1口当たり分配金額：0円

騰落率：-3.9%
(分配金再投資ベース)

■ 純資産価額(右軸) — 1口当たり純資産価格(左軸)
--- 分配金再投資1口当たり純資産価格(左軸)

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、円クラスについては、分配実績はありません。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第11期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しております。

(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

期間中、当ファンドは農産物市場におけるロングポジション、通貨市場におけるユーロに対する様々なポジションなどが1口当たり純資産価格の変動におけるプラス要因となった一方、株式市場におけるロングポジション、債券市場におけるショートポジションなどがマイナス要因となりました。

■分配金について

当期(2022年12月1日～2023年11月30日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落ち日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

米ドルクラスおよび円クラスについては、分配実績はありません。

豪ドルクラス

分配落ち日	1口当たり純資産価格(豪ドル)	1口当たり分配金額(豪ドル) (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注2) (豪ドル)
2022年12月15日	10.00	0.02 (0.20%)	△0.16
2023年1月17日	9.92	0.02 (0.20%)	△0.06
2023年2月15日	10.18	0.02 (0.20%)	0.28
2023年3月15日	9.35	0.02 (0.21%)	△0.81
2023年4月17日	9.75	0.02 (0.20%)	0.42
2023年5月15日	9.97	0.02 (0.20%)	0.24
2023年6月15日	10.36	0.02 (0.19%)	0.41
2023年7月18日	10.33	0.02 (0.19%)	△0.01
2023年8月15日	10.44	0.00 (0.00%)	0.11
2023年9月15日	10.72	0.00 (0.00%)	0.28
2023年10月16日	10.37	0.00 (0.00%)	△0.35
2023年11月15日	10.11	0.00 (0.00%)	△0.26

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落ち日における1口当たり分配金額

b=当該分配落ち日における1口当たり純資産価格+当該分配落ち日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落ち日における1口当たり純資産価格+当該分配落ち日における1口当たり分配金額

c=当該分配落ち日の直前の分配落ち日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注3)2022年12月15日の直前の分配落ち日(2022年11月15日)における1口当たり純資産価格は、10.18豪ドルでした。

■投資環境について

2022年12月、FRB(米連邦準備制度理事会)はインフレ鈍化の兆候を示しながら、他の主要中央銀行と同様のタカ派的な基調を維持し、広く予想されていた50bpsの利上げを発表しました。12月の株式市場は下落し、高騰するインフレに対抗するために多くの中央銀行が積極的な利上げを実施したことによる大幅な下落が続いた1年を締めくくりました。その結果、米国の主要株価指数は2008年の金融危機以来、1年間で最悪の下げ幅を記録しました。国債利回りは全般的に上昇傾向となり、米国の10年物利回りは過去数十年で最大の年間上昇幅を記録して取引を終えました。コモディティ市場では、中国によるCOVID規制の緩和を受けて市場心理が好転しました。

FRBとECB(欧州中央銀行)のタカ派的なレトリックが続いたにもかかわらず、インフレの落ち着きから将来の利上げ幅縮小への期待が高まった結果、リスク性資産が上昇し、債券利回りが低下した形で2023年が始まりました。COVID規制の緩和を受けた中国経済の再開や、欧州の例年より温暖な天候が冬のエネルギー危機の回避に貢献したことで、金融市場のポジティブセンチメントはさらに高まりました。2月は、インフレの持続性をめぐる市場予想の転換が目立ちました。この急激な変化は、予想を上回るインフレ率の上昇と、予想を上回る労働市場のタイト化に起因しました。多くの経済指標が繰り返しアナリストの予想を上回ったため、投資家は将来のインフレと中央銀行の政策金利に対する予想を大幅に上方修正しました。3月には、2008年のワシントン・ミューチュアル以来最大の銀行破綻となったシリコンバレー銀行の破綻を受けて、市場のコンセンサスは突然方向転換しました。このニュースは世界の銀行セクターの伝染リスクへの懸念を煽り、金利上昇が経済にもたらす潜在的な困難を浮き彫りにしました。その結果、国債利回りが過去数十年で最大の日次下落を記録し、債券セクターは極端なボラティリティに見舞われました。

その後の数か月は、マクロトレンドとして、中央銀行とインフレとの闘いが再び主流となりました。3月に見られた混乱による地方銀行へのストレスの影響がいくらか解消されると、市場は政策金利の引き上げと、現在の利上げサイクルがいつ終了するかに再び注目しました。市場が米国の債務上限交渉を注視し、デフォルト懸念がリスクセンチメントに重くのしかかるなか、さらなる不透明感が広がりました。米国のインフレ率は5月に緩和の兆しを見せましたが、雇用市場は引き続き堅調でした。FRBは5月に25bpsの利上げを継続しましたが、6月にはついに利上げを休止しました。しかしながら、FRBのガイダンスは不変で、さらなる利上げは否定されませんでした。他の中央銀行はFRBの利上げ休止に追従せず、BOE(イングランド銀行)は5月に25bpsの利上げ、そして6月には50bpsの大幅利上げに踏み切り、ECBは同期間に25bpsの利上げを2回実施しました。タカ派的なレトリックにもかかわらず、市場心理は人工知能とその応用の可能性をめぐる興奮で活況を呈し、メガキャップのテクノロジー株と各指数を押し上げました。しかし、テクノロジー関連銘柄の比率が低い米国以外の市場では、このような上昇は見られませんでした。その間、VIX指数で測定される株式市場のボラティリティは低下しました。もうひとつのテーマは、日本の金融政策が他の先進国市場とは異なり続けていることでした。イールドカーブコントロールの厳格な運用は、日本市場に劇的な影響を与えました。

2023年第3四半期に向け、投資家はFRBの金利上昇が長期化する可能性があるというスタンスにますます同調するようになり、米国株と米国債は売られました。こうした見通しは、堅調な経済データと底

堅い労働市場に影響されました。米国債の長期債発行が増加したこと、米国の財政赤字に対する懸念、インフレ率がFRBの目標を大幅に上回っていることも、国債利回りの上昇、特に長期債の上昇に繋がりました。サウジアラビア、ロシア、その他のOPECプラス加盟国による供給削減延長計画による原油価格の上昇は、株式市場のリスク心理をさらに低下させました。フィッチレーティングによる米国債格付けの引き下げや中国の経済データの不振も相まって、第3四半期のリスク心理は悪化しました。日本では、中央銀行が長年のイールドカーブコントロール政策を調整し、金利をより自律的に上昇させる意向を表明しました。

当レポート対象期間の最終月となる11月には、投資家のリスク性資産に対する意欲が急上昇しました。11月を通して発表された一連のデータは、米国経済が徐々に冷え込んでいる兆候を示しました。10月の米国のインフレ率と雇用増加率がともに鈍化し、ソフトランディングに向かうとの市場の見方が強まりました。FRBが利上げを据え置くことを決定し、月を通じてFRB関係者のハト派的なトーンがやや強まったことで、政策金利はピークを迎え、利下げが視野に入っているという市場の見方が強まりました。

■ポートフォリオについて

ファンドの農産物へのネットロングポジションが収益をけん引しました。カカオ市場のロングポジションは、主要産地での生産不足が力強い価格上昇をけん引したため、ファンドにおいて最も収益の高い市場となりました。ファンドはまた、特に2023年前半に通貨セクターからも利益を上げました。中央銀行の金融政策のばらつきが通貨の動きに影響をあたえ、ファンドが保有する様々な欧州通貨に対するユーロのロングもしくはショートポジションは、トップクラスのパフォーマンスとなりました。エネルギー市場では、需給動向を受けて価格が全体的に下落したため、ファンドの天然ガス市場へのショートポジションがプラスとなりました。ファンドの損失は、2023年第1四半期、シリコンバレー銀行危機の発生後に集中しました。シリコンバレー銀行の危機は、中期的なマクロ経済トレンドと、当時のファンドの債券ネットショートポジション、株式のネットロングポジションに逆行するものでありました。2023年下半年には、投資家が金利に対する予想を頻繁に見直したため市場心理が変動し、株価指数がさらに損失を被りました。金属市場は年間を通じて波乱含みで、中期的なトレンド捕捉というファンド戦略の性質を踏まえると、厳しい環境となり、同市場からの損失に繋がりました。

■投資の対象とする有価証券の主な銘柄

当期末現在における有価証券の主な銘柄については、後記「4. ファンドの経理状況、（3）投資有価証券明細表等」をご参照ください。

■今後の運用方針

2024年に向けて、引き続き不透明な状況が続いています。次の10年は、過去4年とはまったく異なる様相を呈するでしょう。かつて株式や債券の目覚ましい強気相場をけん引した強力な追い風は、より熱を帯びた予測不可能な環境へと変化しています。システムティック運用会社として、私たちは未来を予想しようとはしません。副投資顧問会社であるアスペクト・キャピタル・リミテッド(以下「アスペク

ト」といいます。)は、過去25年間のリサーチ主導のアプローチに基づき、市場環境の変化に対応できるよう、戦略の質を進化・向上させ続けます。アспектは、これまで同様、お客様に流動性の高い分散投資を提供できるものと確信しています。

このような状況の中、当ファンドのモデルが競争力を保つための緻密なリサーチを続け、投資家の皆様へ良好な運用成果を届けることを目指してまいります。これまでのリサーチにおける経験と更なるトレンドフォロー戦略の改善、そして様々な投資環境の中で培ってきた当ファンドのトラックレコードを合わせることで、今後も投資家の皆様のポートフォリオに多様性をもたらすことができると考えております。

(2) 費用の明細

項目	年率／金額		項目の概要
受託報酬	純資産価額の年率0.01% (ただし、四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。)		ファンドに対して提供する、ファンドの資産の受託業務についての対価
管理報酬	純資産価額の年率0.01% (ただし、四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。)		ファンドに対して提供する、ファンドの資産の運用、管理およびファンドの受益証券の発行、買戻し業務等についての対価
管理事務代行報酬	純資産価額に応じて以下の料率を乗じて得た額(ただし、年間89,000米ドルを最低額とします。)		ファンドに対して提供する、ファンドの報酬および費用の算出、純資産価額の算出および発表、受益証券の申込みおよび買戻請求の処理、ファンドの主たる記録の維持、ファンドの報酬費用の支払いその他の管理事務代行業務および登録・名義書換事務代行業務についての対価
	純資産価額	管理事務代行報酬料率(年率)	
	250百万米ドル未満の部分	0.08%	
	250百万米ドル以上 500百万米ドル未満の部分	0.06%	
	500百万米ドル以上の部分	0.04%	
保管報酬	純資産価額の年率0.02%または受託銀行と保管銀行が随時合意するその他の報酬		ファンドに対して提供する、保管する証券の処理、評価および報告等の保管業務についての対価
投資顧問報酬	純資産価額の年率0.63%		ファンドに対して提供する、ファンドの資産の投資および運用に関する業務についての対価
副投資顧問報酬	基本報酬：共通ポートフォリオ ^(※1) の純資産価額の年率1.5% 成功報酬：さらに共通ポートフォリオの成功報酬控除前評価額が、その時点のハイウォーターマーク ^(※2) を超えた場合、その超過分の20% (※1) 共通ポートフォリオとは、ファンドの資産から為替管理会社が行う為替取引の未実現損益を除いたポートフォリオをいいます。 (※2) ハイウォーターマークとは、過去の共通ポートフォリオの成功報酬控除後の評価額の最高値(設定当初は発行価額)をいいます。		ファンドに対して提供する、ファンドの資産の投資および再投資に関する副投資運用業務についての対価
販売報酬	純資産価額の年率0.95%		ファンドに対して提供する、日本における受益証券の販売・買戻しの取扱業務等の販売会社としての業務についての対価
代行協会員報酬	純資産価額の年率0.05%		ファンドに対して提供する、受益証券一口当たり純資産価格の公表、運用報告書(全体版)のホームページにおける提供、および交付運用報告書その他の書類の日本における販売会社への配布等の代行協会員としての業務についての対価
その他の費用(当期)	ファンドの純資産価額の0.60%		コミッション支払代行報酬、専門家報酬、登録・名義書換事務代行報酬、印刷費用、維持費用、登録費用等

(注1) 各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用・手数料の金額をファンドの当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2) クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト(ファンド)単位で掲載しています。ファンドは複数のクラスで構成されています。

2. 運用実績

(1) 純資産の推移

下記会計年度末および第12会計年度における各月末の純資産の推移は、以下のとおりです。

(米ドルクラス受益証券)

	純資産価額		一口当たり純資産価格	
	米ドル	円	米ドル	円
第3会計年度末 (2014年11月30日)	11,237,986.27	1,701,543,501	9.78	1,481
第4会計年度末 (2015年11月30日)	13,610,125.41	2,060,709,088	11.18	1,693
第5会計年度末 (2016年11月30日)	19,482,476.27	2,949,841,732	9.81	1,485
第6会計年度末 (2017年11月30日)	19,026,583.79	2,880,815,052	10.02	1,517
第7会計年度末 (2018年11月30日)	9,604,627.65	1,454,236,672	8.25	1,249
第8会計年度末 (2019年11月30日)	9,905,860.02	1,499,846,266	9.66	1,463
第9会計年度末 (2020年11月30日)	7,324,017.98	1,108,929,562	8.62	1,305
第10会計年度末 (2021年11月30日)	3,490,741.30	528,533,140	9.03	1,367
第11会計年度末 (2022年11月30日)	9,065,308.76	1,372,578,399	12.50	1,893
第12会計年度末 (2023年11月30日)	14,376,815.94	2,176,793,701	12.63	1,912
2022年 12月末日	10,015,475.56	1,516,443,155	12.53	1,897
2023年 1月末日	9,087,247.25	1,375,900,106	12.29	1,861
2月末日	8,604,687.83	1,302,835,784	12.97	1,964
3月末日	7,770,723.81	1,176,565,292	11.94	1,808
4月末日	9,042,133.97	1,369,069,504	12.39	1,876
5月末日	9,592,574.94	1,452,411,772	12.85	1,946
6月末日	11,815,471.34	1,788,980,516	13.13	1,988
7月末日	11,830,408.28	1,791,242,118	13.02	1,971
8月末日	12,018,973.13	1,819,792,722	13.00	1,968
9月末日	13,546,213.16	2,051,032,135	13.23	2,003
10月末日	14,591,165.48	2,209,248,365	13.23	2,003
11月末日	14,376,815.94	2,176,793,701	12.63	1,912

(豪ドルクラス受益証券)

	純資産価額		一口当たり純資産価格	
	豪ドル	円	豪ドル	円
第3会計年度末 (2014年11月30日)	840,469.91	82,878,738	9.62	949
第4会計年度末 (2015年11月30日)	1,600,105.36	157,786,390	11.07	1,092
第5会計年度末 (2016年11月30日)	4,131,630.14	407,420,048	9.60	947
第6会計年度末 (2017年11月30日)	2,549,737.03	251,429,569	9.60	947
第7会計年度末 (2018年11月30日)	884,779.90	87,248,146	7.68	757
第8会計年度末 (2019年11月30日)	4,028,086.39	397,209,599	8.67	855
第9会計年度末 (2020年11月30日)	795,108.36	78,405,635	7.46	736
第10会計年度末 (2021年11月30日)	741,478.51	73,117,196	7.52	742
第11会計年度末 (2022年11月30日)	924,092.95	91,124,806	10.18	1,004
第12会計年度末 (2023年11月30日)	1,014,491.54	100,039,011	10.03	989
2022年 12月末日	922,158.04	90,934,004	10.16	1,002
2023年 1月末日	901,550.22	88,901,867	9.93	979
2月末日	949,464.02	93,626,647	10.46	1,031
3月末日	873,629.93	86,148,647	9.63	950
4月末日	2,377,737.08	234,468,653	9.96	982
5月末日	1,041,620.37	102,714,185	10.30	1,016
6月末日	1,060,009.09	104,527,496	10.48	1,033
7月末日	1,049,329.24	103,474,356	10.38	1,024
8月末日	1,046,305.34	103,176,170	10.35	1,021
9月末日	1,064,309.23	104,951,533	10.52	1,037
10月末日	1,062,571.88	104,780,213	10.51	1,036
11月末日	1,014,491.54	100,039,011	10.03	989

(円クラス受益証券)

	純資産価額	一口当たり純資産価格
	円	円
第3会計年度末 (2014年11月30日)	1,324,471,735	9,743
第4会計年度末 (2015年11月30日)	2,053,149,317	11,053
第5会計年度末 (2016年11月30日)	4,631,462,053	9,558
第6会計年度末 (2017年11月30日)	3,990,566,124	9,618
第7会計年度末 (2018年11月30日)	2,945,093,193	7,753
第8会計年度末 (2019年11月30日)	3,445,332,056	8,807
第9会計年度末 (2020年11月30日)	2,778,776,430	7,745
第10会計年度末 (2021年11月30日)	1,936,173,599	8,088
第11会計年度末 (2022年11月30日)	3,979,550,051	11,129
第12会計年度末 (2023年11月30日)	4,134,321,807	10,691
2022年 12月末日	3,976,704,555	11,108
2023年 1月末日	3,870,695,358	10,849
2月末日	4,076,354,408	11,425
3月末日	3,632,047,237	10,477
4月末日	3,855,189,120	10,831
5月末日	4,086,146,149	11,190
6月末日	4,383,630,805	11,379
7月末日	4,388,978,218	11,238
8月末日	4,405,773,664	11,154
9月末日	4,399,473,223	11,316
10月末日	4,321,686,170	11,248
11月末日	4,134,321,807	10,691

(2) 分配

(イ) 分配方針

投資顧問会社は、受託銀行を代理する管理事務代行会社に対し、各分配期間（以下「**現分配期間**」といいます。）に関して、各クラスの受益証券の保有者に、投資顧問会社が決定した金額を分配するよう指示することができます。かかる金額は、受益証券の該当するクラスに帰属するファンドの収益、実現および未実現のキャピタルゲインならびに／または分配可能な資金から支払われます。さらに、投資顧問会社は、ファンドに係る分配の合理的な水準を維持するために必要であると考える場合、受託銀行を代理する管理事務代行会社に対してファンドの元本から分配金を支払うことを指示することができます。

投資家におかれては、分配支払額が収益を超える場合には、実質的に投資者の当初元本またはキャピタルゲインについての払戻しとなり、結果として元本を取り崩すこととなり得ることにご留意ください。したがって、元本の確保を求める投資者は、ファンドの純資産価値の減少は、資産価値の減少のみならず、分配による投資者に対する元本の払戻しによっても生ずることを考慮することが強く推奨されます。

現分配期間に関する分配は、分配落ち日の直前ファンド営業日（以下「**分配基準日**」といいます。）において受益者名簿にその者の名前で該当するクラスの受益証券が登録されている者に対して行われ、かつ、かかる分配金はすべて、受益証券のクラス建通貨に応じて0.01米ドル、1円または0.01豪ドル未満の端数が切り捨てられます。分配は、分配基準日に宣言されます。疑義を避けるために付言すると、分配基準日（同日を除きます。）より前に受益証券の申込書を送付した受益者は、当該分配基準日において受益者名簿に登録され、したがって、当該分配基準日に終了する現分配期間に関し、分配を受ける資格を有します。分配基準日に受益証券の申込書を送付した受益者は、当該分配基準日において受益者名簿に登録されず、したがって、当該分配基準日に終了する現分配期間に関し、分配を受ける資格を有しません。

分配金は、一般的に、投資顧問会社の決定するところに従い、分配落ち日から起算して7ファンド営業日目に、日本における販売会社に対して支払われます（以下「**分配金支払日**」といいます。）。豪ドルクラス受益証券に関して、分配金支払日がオーストラリア営業日に該当しない場合、分配はオーストラリア営業日である翌ファンド営業日に支払われます。日本における販売会社または販売取扱会社は、必要な支払処理を完了次第、投資者に対して分配金を支払います。

受益証券の各クラスの受益証券に関する分配金の支払いは、完全に投資顧問会社の裁量によります。また、受益証券の各クラスについて、常に分配期間ごとの分配が行われる旨の表明または保証はなされていません。疑義を避けるために付言すると、あるクラスの受益証券に関して分配対象額が少額の場合、分配が行われないことがあります。

(ロ) 分配の推移

下記会計年度および第12会計年度における各月の分配の推移は、以下のとおりです。

(米ドルクラス受益証券)

分配実績はありません。

(豪ドルクラス受益証券)

	一口当たり分配金	
	豪ドル	円
第3会計年度 (2013年12月1日～2014年11月30日)	0.24	24
第4会計年度 (2014年12月1日～2015年11月30日)	0.24	24
第5会計年度 (2015年12月1日～2016年11月30日)	0.24	24
第6会計年度 (2016年12月1日～2017年11月30日)	0.24	24
第7会計年度 (2017年12月1日～2018年11月30日)	0.24	24
第8会計年度 (2018年12月1日～2019年11月30日)	0.24	24
第9会計年度 (2019年12月1日～2020年11月30日)	0.24	24
第10会計年度 (2020年12月1日～2021年11月30日)	0.24	24
第11会計年度 (2021年12月1日～2022年11月30日)	0.24	24
第12会計年度 (2022年12月1日～2023年11月30日)	0.16	16
2022年12月15日	0.02	2
2023年1月17日	0.02	2
2023年2月15日	0.02	2
2023年3月15日	0.02	2
2023年4月17日	0.02	2
2023年5月15日	0.02	2
2023年6月15日	0.02	2
2023年7月18日	0.02	2
2023年8月15日	0.00	0
2023年9月15日	0.00	0
2023年10月16日	0.00	0
2023年11月15日	0.00	0

(円クラス受益証券)

分配実績はありません。

(3) 販売及び買戻しの実績

各会計年度末における販売および買戻しの実績ならびに各会計年度末における発行済口数は、以下のとおりです。

(米ドルクラス受益証券)

	販売口数	買戻口数	発行済口数
第3会計年度	51,608 (51,608)	1,558,998 (1,558,998)	1,149,162 (1,149,162)
第4会計年度	1,243,682 (1,243,682)	1,175,305 (1,175,305)	1,217,539 (1,217,539)
第5会計年度	1,153,757 (1,153,757)	385,834 (385,834)	1,985,462 (1,985,462)
第6会計年度	597,304 (597,304)	683,017 (683,017)	1,899,750 (1,899,750)
第7会計年度	108,436 (108,436)	843,924 (843,924)	1,164,262 (1,164,262)
第8会計年度	0 (0)	138,413 (138,413)	1,025,849 (1,025,849)
第9会計年度	360,389 (360,389)	199,294 (199,294)	1,186,944 (1,186,944)
第10会計年度	13,543 (13,543)	813,861 (813,861)	386,627 (386,627)
第11会計年度	576,866 (576,866)	238,478 (238,478)	725,015 (725,015)
第12会計年度	708,691 (708,691)	295,600 (295,600)	1,138,106 (1,138,106)

(豪ドルクラス受益証券)

	販売口数	買戻口数	発行済口数
第3会計年度	0 (0)	114,352 (114,352)	87,395 (87,395)
第4会計年度	130,471 (130,471)	73,334 (73,334)	144,533 (144,533)
第5会計年度	300,297 (300,297)	14,322 (14,322)	430,507 (430,507)
第6会計年度	108 (108)	165,129 (165,129)	265,486 (265,486)
第7会計年度	137 (137)	150,434 (150,434)	115,189 (115,189)
第8会計年度	349,284 (349,284)	14 (14)	464,459 (464,459)
第9会計年度	0 (0)	357,871 (357,871)	106,588 (106,588)
第10会計年度	0 (0)	7,917 (7,917)	98,671 (98,671)
第11会計年度	0 (0)	7,917 (7,917)	90,754 (90,754)
第12会計年度	158,304 (158,304)	147,926 (147,926)	101,132 (101,132)

(円クラス受益証券)

	販売口数	買戻口数	発行済口数
第3会計年度	24,334 (24,334)	89,120 (89,120)	135,934 (135,934)
第4会計年度	161,742 (161,742)	111,046 (111,046)	186,630 (186,630)
第5会計年度	409,194 (409,194)	111,248 (111,248)	484,576 (484,576)
第6会計年度	73,257 (73,257)	142,920 (142,920)	414,913 (414,913)
第7会計年度	71,013 (71,013)	106,074 (106,074)	379,851 (379,851)
第8会計年度	143,166 (143,166)	89,714 (89,714)	433,303 (433,303)
第9会計年度	34,951 (34,951)	109,450 (109,450)	358,804 (358,804)
第10会計年度	0 (0)	119,408 (119,408)	239,396 (239,396)
第11会計年度	213,808 (213,808)	95,630 (95,630)	357,574 (357,574)
第12会計年度	69,680 (69,680)	40,532 (40,532)	386,722 (386,722)

(注) () 内の数字は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

3. 純資産額計算書

(2023年11月30日現在)

		米ドル／豪ドル／円 (Ⅳを除く)	円 (Ⅳを除く)
Ⅰ. 資産総額		43,694,712.45米ドル	6,615,816,412
Ⅱ. 負債総額		753,383.14米ドル	114,069,741
Ⅲ. 純資産総額	米ドルクラス受益証券 豪ドルクラス受益証券 円クラス受益証券	14,376,815.94米ドル 1,014,491.54豪ドル 4,134,321,807円	2,176,793,701 100,039,011 —
Ⅳ. 発行済口数	米ドルクラス受益証券 豪ドルクラス受益証券 円クラス受益証券		1,138,105.53口 101,132.38口 386,722口
Ⅴ. 一口当たり純資産 価格 (Ⅲ／Ⅳ)	米ドルクラス受益証券 豪ドルクラス受益証券 円クラス受益証券	12.63米ドル 10.03豪ドル 10,691円	1,912 989 —

4. ファンドの経理状況

- a. ファンドの直近会計年度の日本語の財務書類は、国際財務報告基準に準拠して作成された原文の財務書類を翻訳したものです（ただし、円換算部分を除きます。）。これは「特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令」に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第131条第5項ただし書の規定の適用によるものです。
- b. ファンドの原文の財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいう。）であるプライスウォーターハウスクーパース（ケイマン諸島）から監査証明に相当すると認められる証明を受けており、当該監査証明に相当すると認められる証明に係る監査報告書に相当するもの（訳文を含みます。）が当該財務書類に添付されています。
- c. ファンドの原文の財務書類は米ドルで表示されています。日本語の財務書類には、主要な事項について令和6年3月末日現在における株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル＝151.41円）で換算された円換算額が併記されています。なお、千円未満の金額は四捨五入されています。円換算額は、四捨五入のため合計欄の数値が総数と一致しない場合があります。

独立監査人による監査報告書（監査報告書英語版からの和訳）

個別の資格としてではなくもっぱらDIAMケイマン・トラストのシリーズ・トラストであるDIAMケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンドの受託銀行としてのファーストカリビアン・インターナショナル・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド御中

当監査法人の意見

当監査法人は、財務諸表が、IFRS会計基準に準拠して、2023年11月30日現在のDIAMケイマン・トラストのシリーズ・トラストであるDIAMケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド（以下、「ファンド」といいます。）の財政状態、ならびに同日終了年度に係る経営成績およびキャッシュ・フローの状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

監査対象

ファンドの財務諸表は、下記で構成されています。

- ・2023年11月30日現在の財政状態計算書、
- ・同日終了年度に係る包括利益計算書、
- ・同日終了年度に係る受益者帰属純資産変動計算書、
- ・同日終了年度に係るキャッシュ・フロー計算書、ならびに
- ・重要な会計方針およびその他の説明情報を含む財務諸表に対する注記

監査意見の根拠

当監査法人は、国際監査基準（以下、「ISA」といいます。）に従い監査を実施しました。当該基準における当監査法人の責任につきましては、本報告書の「財務諸表監査に対する監査人の責任」の区分で詳述しています。

当監査法人は、入手した監査証拠が、当監査法人の監査意見の基礎として十分かつ適切であると考えます。

独立性

当監査法人は、国際会計士倫理基準審議会によって公表された職業会計士のための国際倫理規定（国際独立性基準を含みます。）（以下、「IESBA Code」といいます。）に従い、ファンドから独立しています。当監査法人はIESBA Codeのその他の倫理上の責任も果たしています。

その他の情報

経営者はその他の情報に対して責任を負います。その他の情報は、投資運用附属明細表（未監査）に含まれる情報からなり、財務諸表および当監査法人の監査報告書は含まれません。

財務諸表に対する当監査法人の意見は、その他の情報を対象としておらず、よって、当監査法人はその他の情報に対していかなる種類の保証となる結論も表明しません。

財務諸表に対する当監査法人の監査に関連して、当監査法人の責任は、上記のその他の情報を通読し、その他の情報と、財務諸表または監査を通じて得た当監査法人の知るところとの間に著しい不整合が存在するか否か、あるいは重要な虚偽表示の兆候がないかを検討することにあります。当監査法人がその実施した作業に基づき、その他の情報に重要な虚偽表示があると結論付ける場合、当監査法人はその旨を報告する義務を負います。これに関し、当監査法人は報告すべき事項はありません。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者は、IFRS会計基準に準拠した財務諸表の作成および適正な表示、ならびに不正または誤謬を問わず重要な虚偽表示のない財務諸表の作成をするために経営者が必要と判断する内部統制の整備について責任を負います。

財務諸表の作成に関する経営者の責任は、継続企業として存続するファンドの能力を評価し、該当する場合には継続企業に関連する事項を開示し、経営者がファンドの清算または事業停止の意図を有するか、もしくはそれ以外に現実的な選択肢がない場合を除き、継続企業の前提に基づいて財務諸表を作成することにあります。

財務諸表監査に対する監査人の責任

当監査法人の目的は、不正か誤謬かを問わず、全体としての財務諸表に重要な虚偽表示がないかについて合理的な確証を得て、当監査法人の意見を含めた監査報告書を提出することです。合理的な確証は、高い水準の確証ですが、ISAに準拠して実施した監査が、存在するすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確約するものではありません。虚偽表示は不正または誤謬から発生する可能性があり、個別または合計すると、財務諸表利用者が財務諸表に基づいて行う経済的意思決定に影響を及ぼすと合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断されます。

ISAに準拠した監査の一環として、当監査法人は監査を通して職業的専門家としての判断を行わせ、監査を通じて常に職業的専門家としての懐疑心を保持することに加え、下記を実施します。

- ・不正または誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクを識別、評価し、それらのリスクに対応する監査手続を立案、実施し、当監査法人の意見の基礎を提供するのに十分かつ適切な監査証拠を入手します。不正は共謀、文書の偽造、意図的な除外、虚偽の陳述、内部統制の無効化を伴う可能性があるため、不正による重要な虚偽表示を発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高いです。
- ・状況に適した監査手続を立案するために監査に関連性のある内部統制を理解しますが、ファンドの内部統制の有効性に対する意見を表明することを目的とはしません。
- ・用いられた会計方針の適切性および経営者が行った会計上の見積りと関連する開示の合理性を評価します。
- ・経営者が継続企業の前提に基づき会計処理したこと、および入手した監査証拠に基づき、継続企業として存続するファンドの能力に著しい疑義をもたらす事象や状況に関連する重要な不確実性の有無について結論付けます。重要な不確実性が存在すると結論付ける場合には、監査報告書において財務諸表に含まれる関連する開示を参照するか、または、関連する開示が妥当でない場合には、意見を変更することが要求されます。当監査法人の結論は監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいております。ただし、将来の事象または状況により、ファンドが継続企業として存続できなくなることがあります。
- ・開示を含む財務諸表の全体的な表示、構成および内容、ならびに、財務諸表が基礎となる取引や事象を適正に表示しているかを評価します。

当監査法人は、特に監査の範囲とその実施時期の計画、および監査上の重要な発見事項（監査の過程での識別した内部統制の重要な不備を含む）について統治責任者とコミュニケーションを行います。

その他

意見を含む本報告書は、契約における条件に基づきファンドのためにのみ作成され、それ以外の目的では作成されていません。当監査法人は、事前に書面での当監査法人の同意により明確に承諾される場合を除き、本意見を提出することで、当該目的以外のいかなる目的、または本報告書の提示を受け、若しくは本報告書を受領する第三者について、いかなる責任を負うことはありません。

プライスウォーターハウスクーパース

2024年5月10日

(注)

本監査報告書は、英語を原語として作成された監査報告書の和訳です。情報、見解または意見のあらゆる解釈においては、監査報告書英語版が優先されます。



Independent auditor's report

To FirstCaribbean International Bank and Trust Company (Cayman) Limited
not in its individual capacity but solely as Trustee of DIAM Cayman Trust – Aspect Managed Futures
Fund, a series trust of DIAM Cayman Trust

Our opinion

In our opinion, the financial statements present fairly, in all material respects, the financial position of DIAM Cayman Trust – Aspect Managed Futures Fund (the Class Fund), a series trust of DIAM Cayman Trust as at 30 November 2023, and its financial performance and its cash flows for the year then ended in accordance with IFRS Accounting Standards.

What we have audited

The Class Fund's financial statements comprise:

- the statement of financial position as at 30 November 2023;
- the statement of comprehensive income for the year then ended;
- the statement of changes in net assets attributable to unitholder for the year then ended;
- the statement of cash flows for the year then ended; and
- the notes to the financial statements, which include significant accounting policies and other explanatory information.

Basis for opinion

We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing (ISAs). Our responsibilities under those standards are further described in the *Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements* section of our report.

We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Independence

We are independent of the Class Fund in accordance with the International Code of Ethics for Professional Accountants (including International Independence Standards) issued by the International Ethics Standards Board for Accountants (IESBA Code). We have fulfilled our other ethical responsibilities in accordance with the IESBA Code.

Other information

Management is responsible for the other information. The other information comprises the Supplementary Schedule of Investments (Unaudited) on pages 34-40, (but does not include the financial statements and our auditor's report thereon).



Our opinion on the financial statements does not cover the other information and we do not express any form of assurance conclusion thereon.

In connection with our audit of the financial statements, our responsibility is to read the other information identified above and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the financial statements or our knowledge obtained in the audit, or otherwise appears to be materially misstated. If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report that fact. We have nothing to report in this regard.

Responsibilities of management for the financial statements

Management is responsible for the preparation and fair presentation of the financial statements in accordance with IFRS Accounting Standards, and for such internal control as management determines is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the financial statements, management is responsible for assessing the Class Fund's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless management either intends to liquidate the Class Fund or to cease operations, or has no realistic alternative but to do so.

Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.

As part of an audit in accordance with ISAs, we exercise professional judgment and maintain professional scepticism throughout the audit. We also:

- Identify and assess the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Class Fund's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by management.
- Conclude on the appropriateness of management's use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Class Fund's ability to continue as a going concern. If



we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the financial statements or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Class Fund to cease to continue as a going concern.

- Evaluate the overall presentation, structure and content of the financial statements, including the disclosures, and whether the financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

We communicate with those charged with governance regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

Other matter

This report, including the opinion, has been prepared for and only for the Class Fund in accordance with the terms of our engagement letter and for no other purpose. We do not, in giving this opinion, accept or assume responsibility for any other purpose or to any other person to whom this report is shown or into whose hands it may come save where expressly agreed by our prior consent in writing.

PricewaterhouseCoopers

10 May 2024

(1) 貸借対照表

D I A Mケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド財政状態計算書2023年11月30日現在

(米ドル表示)

	2023年11月30日現在		2022年11月30日現在	
	米ドル	千円	米ドル	千円
資産				
損益を通じて公正価値で測定する金融資産 (注3、4、9)	\$ 25,230,690	3,820,179	\$ 28,815,960	4,363,025
証拠金勘定(注2)	16,327,995	2,472,222	11,426,738	1,730,122
現金および現金同等物(注2、9)	4,840,052	732,832	4,135,702	626,187
未収受入れ出資金	66,111	10,010	928,918	140,647
その他の資産	1,561	236	123	19
資産合計	<u>\$ 46,466,409</u>	<u>7,035,479</u>	<u>\$45,307,441</u>	<u>6,860,000</u>
負債				
損益を通じて公正価値で測定する金融負債 (注3、4、9)	\$2,766,935	418,942	\$2,311,842	350,036
未払償還金	377,031	57,086	288,832	43,732
未払代行協会および販売報酬(注6)	70,210	10,630	59,678	9,036
ブローカーに対する債務	53,382	8,083	2,969,062	449,546
未払副投資顧問報酬(注6)	53,372	8,081	45,733	6,924
未払投資顧問報酬(注6)	46,561	7,050	39,576	5,992
未払専門家報酬	35,106	5,315	64,332	9,741
未払管理事務代行報酬(注6)	15,118	2,289	14,874	2,252
未払受託報酬(注6)	4,949	749	2,985	452
未払管理報酬(注6)	2,180	330	2,560	388
未払保管報酬(注6)	1,478	224	1,256	190
未払費用	32,648	4,943	43,665	6,611
負債(受益者に帰属する純資産を除く)	3,458,970	523,723	5,844,395	884,900
受益者に帰属する純資産(注8)	43,007,439	6,511,756	39,463,046	5,975,100
負債合計	<u>\$46,466,409</u>	<u>7,035,479</u>	<u>\$45,307,441</u>	<u>6,860,000</u>

個人の資格ではなく、もっぱらD I A Mケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンドの受託銀行として、ファーストカリビアン・インターナショナル・バンク・アンド・トラスト・カンパニー(ケイマン) リミテッドを代表して発行を承認する。

ロニー・カスパート

日付： 2024年5月10日

ジェオビー・マテウム

個人の資格ではなく、もっぱらD I A Mケイマン・トラストの管理会社として、クイーンズゲートを代表して発行を承認する。

カルラ・ボッデン

日付： 2024年5月10日

マーシャ・スミス

添付の注記は当財務諸表の一部です。

(2) 損益計算書

D I A M ケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド

包括利益計算書

2023年11月30日終了年度

(米ドル表示)

	2023年11月30日終了年度		2022年11月30日終了年度	
	米ドル	千円	米ドル	千円
収益				
受取利息	\$ 1,669,438	252,770	\$ 336,396	50,934
損益を通じて公正価値で測定する金融資産および 金融負債の公正価値の純変動額 (注3)	(3,000,838)	(454,357)	6,336,865	959,465
(純損失) / 純利益	(1,331,400)	(201,587)	6,673,261	1,010,398
費用				
副投資顧問報酬 (注6)	617,809	93,542	449,392	68,042
代行協会員および販売報酬 (注6)	409,707	62,034	295,403	44,727
成功報酬 (注6)	276,917	41,928	1,960,786	296,883
投資顧問報酬 (注6)	258,115	39,081	186,116	28,180
取引仲介手数料	97,504	14,763	54,981	8,325
専門家報酬	97,414	14,749	120,534	18,250
管理事務代行報酬 (注6)	89,000	13,475	89,000	13,475
受託報酬 (注6)	20,499	3,104	20,499	3,104
管理報酬 (注6)	15,000	2,271	15,764	2,387
保管報酬 (注6)	8,194	1,241	5,908	895
その他費用	64,784	9,809	45,671	6,915
運営費用合計	1,954,943	295,998	3,244,054	491,182
運営 (損失) / 利益	(3,286,343)	(497,585)	3,429,207	519,216
財務費用				
受益者への分配 (注7)	(14,096)	(2,134)	(15,377)	(2,328)
受益者に帰属する運用による純資産の (純減少) / 純増加	<u>\$ (3,300,439)</u>	<u>(499,719)</u>	<u>\$ 3,413,830</u>	<u>516,888</u>

添付の注記は当財務諸表の一部です。

受益者帰属純資産変動計算書

2023年11月30日終了年度

(米ドル表示)

	2023年11月30日終了年度		2022年11月30日終了年度	
	米ドル	千円	米ドル	千円
受益者帰属純資産				
期首残高	\$ 39,463,046	5,975,100	\$ 21,135,497	3,200,126
当期発行（注8）	14,804,246	2,241,511	25,214,560	3,817,737
当期買戻（注8）	(7,959,414)	(1,205,135)	(10,300,841)	(1,559,650)
受益者に帰属する運用による純資産の当期（純減少）／純増加	<u>(3,300,439)</u>	<u>(499,719)</u>	<u>3,413,830</u>	<u>516,888</u>
期末残高	<u>\$ 43,007,439</u>	<u>6,511,756</u>	<u>\$ 39,463,046</u>	<u>5,975,100</u>

添付の注記は当財務諸表の一部です。

D I A Mケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド

キャッシュ・フロー計算書

2023年11月30日終了年度

(米ドル表示)

	2023年11月30日終了年度		2022年11月30日終了年度	
	米ドル	千円	米ドル	千円
営業活動				
受益者に帰属する運用による純資産の（純減少）／純増加	\$ (3,300,439)	(499,719)	\$ 3,413,830	516,888
調整：				
受取利息	(1,669,438)	(252,770)	(336,396)	(50,934)
受益者への分配	14,096	2,134	15,377	2,328
	(4,955,781)	(750,355)	3,092,811	468,283
損益を通じて公正価値で測定する金融資産の純減少／（純増加）	3,585,270	542,846	(15,017,766)	(2,273,840)
証拠金勘定の純増加	(4,901,257)	(742,099)	(1,690,458)	(255,952)
その他の資産の純増加	(1,438)	(218)	-	-
損益を通じて公正価値で測定する金融負債の純増加／（純減少）	455,093	68,906	(760,189)	(115,100)
ブローカーに対する債務の（純減少）／純増加	(2,915,680)	(441,463)	2,969,062	449,546
その他未払金の（純減少）／純増加	(13,037)	(1,974)	65,434	9,907
運用による現金の純減少	(8,746,830)	(1,324,358)	(11,341,106)	(1,717,157)
受取利息	1,669,438	252,770	336,396	50,934
営業活動によるキャッシュ・フローの純減少	(7,077,392)	(1,071,588)	(11,004,710)	(1,666,223)
財務活動				
受益者からの申込金受入	15,667,053	2,372,148	24,285,642	3,677,089
受益者への買戻代金支払	(7,871,215)	(1,191,781)	(10,012,009)	(1,515,918)
受益者への分配支払	(14,096)	(2,134)	(15,377)	(2,328)
財務活動によるキャッシュ・フローの純増加	7,781,742	1,178,234	14,258,256	2,158,843
現金および現金同等物の純増加	704,350	106,646	3,253,546	492,619
現金および現金同等物の期首残高	4,135,702	626,187	882,156	133,567
現金および現金同等物の期末残高	\$ 4,840,052	732,832	\$ 4,135,702	626,187

添付の注記は当財務諸表の一部です。

財務諸表に対する注記
2023年11月30日終了年度

1. 一般事項

D I A Mケイマン・トラスト（以下、「トラスト」といいます。）は、2011年6月29日付けの基本信託証書（以下、「信託証書」といいます。）に従い、ケイマン諸島法に基づき設定された免税のユニット・トラストです。D I A Mケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド（以下、「ファンド」といいます。）は、2012年3月16日に運営を開始しました。トラストは2011年6月29日付けで、ケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法に従い登録されました。トラストの営業拠点は、ケイマン諸島、グランド・ケイマン K Y 1－1107、ジョージ・タウン、メイン・ストリート25です。トラストは、2012年2月3日、金融商品取引法に基づき関東財務局長に対して有価証券届出書を、また、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき金融庁長官に登録申請書をファンドに代わり提出しました。

ファンドは、トラストの傘下に設定されたシリーズ・トラストです。ファンドの投資目的は、厳密なリスク管理体制内で、従来の株式債券市場の全般的な変動に左右されずに、中期的な信託財産の成長を図ることです。副投資顧問会社（注記6）は、完全にシステム化され幅広く分散されたグローバルなトレーディングシステムを採用し、主に派生商品の活用を通じ、多様な金融商品やその他資産（株式、株式指数、債務証券（債券を含みます。）、通貨、金利および商品（エネルギー、金属および農産物を含みます。）を含みますが、これに限定しません。）の市場のトレンドを伴う動きを見極め、有効に活用するべく、多様な戦略を展開します。

2. 重要な会計方針

以下は財務諸表の作成に採用された重要な会計方針です。特に明記されない限り、これらの会計方針が当期間を通して採用されます。

作成の基準

ファンドの財務諸表は、国際会計基準審議会によって作成された国際財務報告基準（以下、「I F R S会計基準」といいます。）に従って作成しています。財務諸表は、取得原価主義に基づいて作成され、金融資産および金融負債（金融派生商品を含みます。）は損益を通じて公正価値によって再評価されます。

I F R S会計基準に従って財務諸表を作成するためには、特に重要な会計上の見積もりを使用する必要があります。また、ファンドの会計方針を採用する過程において、受託銀行が判断する必要があります。高度な判断や複雑性を含む分野、あるいは仮定や評価が財務諸表にとって重要であるという分野は注記2、9、および10に記載されています。

この書類において純資産という表現は、特に明記されない限り、参加型受益証券保有者に帰属する純資産です。注記8に記載されている各クラスの参加型受益証券に係る一口当たりの純資産は、クラスごとの総資産から総負債を控除した金額を、各クラスの参加型受益証券で残存している受益証券の口数で除して算出されます。

(a) 2022年12月1日現在採用の基準、およびその変更

2022年12月1日に開始する事業年度において、初めて効力が生じる基準や、基準および解釈への変更で、ファンドの財務諸表に重要な影響を及ぼすと思われるものは他にありません。

(b) 2022年12月1日に開始する期間において公表されているが、未実施であり、かつ早期適用していない新基準、修正、および解釈

2022年12月1日以後に開始する事業年度において、数多くの新基準、基準の修正、解釈が適用となりますが、当財務諸表には採用されていません。ファンドの財務諸表に重要な影響を及ぼすと思われるものはありません。

ファンドの重要な会計方針は、（特に明記しない限り）すべての期間において、以下のとおりです。

損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債

(a) 分類

ファンドは、投資内容を損益を通じて公正価値で測定する債務証券、派生商品に分類します。ファンドは、金融資産の管理についてのファンドの事業モデルおよび金融資産の契約上のキャッシュ・フローの特性に基づいて投資を分類しています。金融資産はポートフォリオで管理され、その成果は公正価値に基づき評価されます。ファンドは主に公正価値情報に注目しており、当該情報を金融資産の成果評価や意思決定のために使用しています。ファンドの負債性証券の契約上のキャッシュ・フローは元本と金利のみですが、これらの証券は契約上のキャッシュ・フローの回収、または契約上のキャッシュ・フローの回収および売却の双方を目的として保有されているものではありません。契約上のキャッシュ・フローの回収はファンドの事業モデルの目的を達成する上で付随的に生じるものです。

正または負の公正価値を有する派生商品契約は、損益を通じて公正価値で測定する金融資産または金融負債としてそれぞれ表示されています。

そのため、ファンドはすべての投資ポートフォリオを、損益を通じて公正価値で測定する金融資産または金融負債に分類しています。ファンドの、受益者に帰属する純資産の分配義務は、償還可能金額で計上されており、当該金額は公正価値に近似します。その他のすべての金融資産および金融負債は償却原価で測定されるものとして分類されます。

(b) 認識、認識の中止、および測定

投資の通常の購入と売却は、取引日、つまりファンドがその投資を購入あるいは売却することを約束した日に認識されます。損益を通じて公正価値で測定する金融資産と金融負債は、最初は公正価値で認識されます。取引経費は、包括利益計算書に計上され費用化されます。

金融資産は、投資から現金の支払を受ける権利の有効期限が満了となり、あるいはファンドが実質上すべてのリスクと所有者利益を譲渡したときに、認識を中止します。

最初の認識に続いて、損益を通じて公正価値評価されたすべての金融資産と金融負債は、公正価値で測定されます。「損益を通じて公正価値で測定する金融資産あるいは金融負債」分類の公正価値の変動から生じる損益は、発生した期間に損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債の公正価値の純変動額として包括利益計算書に表示されます。

(c) 公正価値評価

活発な市場がある有価証券は、その有価証券が取引された時に取引所で値付けされる買い気配値、あるいは、取引所で取引されない投資については、主要な値付け業者によって提示される価格を参考とし、公正価値で評価されます。

ファンドは、先渡契約および先物契約からなる派生取引を行います。これらの派生取引は、財政状態計算書に公正価値で計上され、実現損益および未実現損益は包括利益計算書に計上されます。公正価値は一般的に、市場価格、ブローカーあるいは証券会社の相場価格に基づきます。店頭派生商品の公正価値は、金利、通貨、株式、および商品と、それらの時間的価値、流動性・変動性要素に係る現在の市況データを考慮に入れた価値評価モデルに基づいて決定されます。

担保 ファンドの現金担保は、証拠金勘定として財政状態計算書に計上されますが、現金および現金同等物には含まれません。証拠金勘定は、取引所先物取引および外国為替証拠金取引に関して保有される委託証拠金です。

証拠金 証拠金は、未決済の先物契約に対する担保としてブローカーによって保有される預け金です。

現金および現金同等物 現金および現金同等物は、要求払預金、通知預金、および3ヶ月以内に満期が到来する預金を含みます。2023年11月30日現在のファンドの現金および現金同等物は、ファンドの保管銀行において管理されています。（注記9）

ブローカーへの債権およびブローカーに対する債務 ブローカーへの債権の額は、証券会社との未決済の派生取引から生じる未収金の残高です。ブローカーに対する債務の額は、証券会社との未決済の派生取引から生じる未払金の残高です。

金融商品の相殺 認識された金額を相殺するという法的に強制可能な権利を有し、かつ純額で決済し、または資産の実現と負債の決済を同時に行うことを意図する場合、金融資産・負債を相殺し、財政状態計算書に純額が計上されます。

費用 費用は発生基準で計上されます。

受取利息および損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じる受取利息 受取利息は、実効金利法に基づき、発生基準で計上されます。受取利息は現金および現金同等物、証拠金から生じる利息を含みます。損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じる受取利息は、負債性証券から生じる利息を含みます。

税金 ケイマン諸島の現行の法律において、所得、財産、譲渡益についての税金、またはその他ケイマン諸島の税金がファンドに課されることはありません。よって、財務諸表において、納税引当金を計上していません。ファンドの受取利息について、通常、海外の所得税が源泉徴収されます。

ファンドは、実質的にケイマン諸島以外の国に所在する企業体が発行する有価証券に投資をします。これらの多くの外国では、ファンドのような非居住者に対して譲渡益課税が適用されます。一般的に、これらの譲渡益に対する税金は申告課税方式で金額が決定され、ファンドの取引証券会社によってこれらの税金が源泉方式で控除されることはありません。

2023年11月30日現在において、ファンドは、海外における譲渡益に係る未払税金債務はゼロであると測定しています（2022年11月30日時点においても該当ありません）。

分配 受益者への分配は、包括利益計算書でその他費用として分類されます。（注記7）

外貨取引 アメリカドル（以下、「米ドル」といいます。）以外の外貨建て資産および負債は、評価日の実勢為替レートで換算されます。外貨建て収益および費用は、取引日の為替レートで換算されます。為替差損益は、発生する期間に係る包括利益計算書に含まれます。

損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債に係る為替差損益は、包括利益計算書において、「損益を通じて公正価値で測定する金融資産および金融負債の公正価値の純変動額」に記載されます。

機能通貨および表示通貨 ファンドの財務諸表に含まれる科目は、機能する主要な経済環境の通貨（以下、「機能通貨」といいます。）である米ドルを使って測定されます。大部分の投資は米ドル建てであり、ファンドの発行および償還の一部は米ドル建てで行われます。さらに、ファンドは表示通貨として米ドルが適用されます。

参加型受益証券 ファンドは3種類の受益証券（注記8）を発行しており、保有者の選択により償還できるが、同一の権利を有していません。この参加型受益証券は、金融負債として分類されます。参加型受益証券は、営業日であればいつでも、ファンドの純資産の持分比率に応じた現金と交換に、受益者によってファンドへの買戻しが請求されます。参加型受益証券は、受益者がファンドに受益証券を戻す権利を履行した場合に、財政状態計算書の日付において支払うべき償還金額で計上されます。

3. 損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債

2023年11月30日現在、損益を通じて公正価値で測定する売買目的の金融資産は次のとおりです。

	公正価値	純資産に対する割合
米国財務省証券への投資		
米国財務省短期証券	\$ 22,372,123	52.02 %
米国財務省証券への投資合計	\$ 22,372,123	52.02 %
派生取引		
先渡取引	\$ 708,093	1.65 %
先物取引	2,150,474	5.00 %
派生取引合計	\$ 2,858,567	6.65 %
損益を通じて公正価値で測定する金融資産の合計	\$ 25,230,690	58.67 %

2023年11月30日現在、損益を通じて公正価値で測定する売買目的の金融負債は次のとおりです。

	公正価値	純資産に対する割合
派生取引		
先渡取引	\$ (1,298,440)	(3.02) %
先物取引	(1,468,495)	(3.41) %
派生取引合計	\$ (2,766,935)	(6.43) %
損益を通じて公正価値で測定する金融負債の合計	\$ (2,766,935)	(6.43) %

2022年11月30日現在、損益を通じて公正価値で測定する売買目的の金融資産は次のとおりです。

	公正価値	純資産に対する割合
米国財務省証券への投資		
米国財務省短期証券	\$ 26,436,266	66.99 %
米国財務省証券への投資合計	\$ 26,436,266	66.99 %
派生取引		
先渡取引	\$ 1,505,466	3.81 %
先物取引	874,228	2.22 %
派生取引合計	\$ 2,379,694	6.03 %
損益を通じて公正価値で測定する金融資産の合計	\$ 28,815,960	73.02 %

2022年11月30日現在、損益を通じて公正価値で測定する売買目的の金融負債は次のとおりです。

	公正価値	純資産に対する割合
派生取引		
先渡取引	\$ (1,235,699)	(3.13) %
先物取引	(1,076,143)	(2.73) %
派生取引合計	\$ (2,311,842)	(5.86) %
損益を通じて公正価値で測定する金融負債の合計	\$ (2,311,842)	(5.86) %

損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債の
公正価値の純変動額：

	2022年12月1日開 始2023年11月30日 終了年度	2021年12月1日開 始2022年11月30日 終了年度
実現額	\$ (3,043,704)	\$ 6,068,650
未実現額の変動	42,866	268,215
(損失)/利益合計	\$ (3,000,838)	\$ 6,336,865

4. 金融派生商品

通常の取引において、ファンドは様々な金融商品を取引し、簿外リスクを伴う様々な投資活動を行います。これらの金融商品は、先物および通貨先渡契約を含みます。先物契約は取引所で取引されますが、通貨先渡契約は事前承認を受けた相手に対する契約の約定です。

先物および通貨先渡契約は、将来の特定の日に、特定の価格あるいは利回りで引渡す、または受け取ることを相手と同意して、証券、商品、通貨、あるいはその他金融商品を先延ばしで引渡しを行うものです。マーケットリスクおよび信用リスクがこれらの契約に伴い発生します。先物の取引では、契約締結に伴って、参加者に当初委託証拠金と変動証拠金の両方を取引所に直接払いこむことが要求されますので、相手先に対する信用供与は限定されます。

ファンドは、先物および通貨先渡契約の証拠金勘定に担保を維持することが要求されます。証拠金として預け入れられている金額は、使用と市場性という観点から制限されています。この金額は、ファンドによって厳密にモニターされています。

ファンドは下記の派生商品を保有しています。

(a) 先物

先物は、将来の日において、組織化された市場において確立された特定の価格で金融商品を購入あるいは売却するという契約上の義務です。先物契約は現金あるいは市場性のある証券を担保とし、先物契約の価値の変動額は取引所において毎日決済されます。先物は純額で決済されます。

2023年11月30日現在、ファンドは取引所に上場する先物で下記の投資を行っています。

	想定元本－純額	公正価値
公正価値純額による先物契約		
通貨	\$ (684,644)	\$ (12,575)
エネルギー	(1,971,648)	552,831
金融	(113,906,321)	(574,194)
穀物	5,724,956	543,888
インデックス	(2,766,999)	82,332
ロンドン金属	(3,304,140)	94,360
材料	(40,580)	550
畜産物	(1,389,280)	6,102
金属	(1,388,010)	(11,315)
公正価値純額による先物契約合計額	<u><u>\$ (119,726,666)</u></u>	<u><u>\$ 681,979</u></u>

2022年11月30日現在、ファンドは取引所に上場する先物で下記の投資を行っています。

	想定元本－純額	公正価値
公正価値純額による先物契約		
通貨	\$ (342,906)	\$ (5,826)
エネルギー	(36,502)	191,526
金融	(45,313,418)	(113,508)
穀物	1,135,066	52,547
インデックス	435,825	(137,751)
ロンドン金属	(343,961)	(172,045)
材料	(76,460)	(8,150)
畜産物	(1,251,843)	(26,932)
金属	(592,115)	18,224
公正価値純額による先物契約合計額	<u><u>\$ (46,386,314)</u></u>	<u><u>\$ (201,915)</u></u>

(b) 先渡契約

下記は2023年11月30日現在の未決済の通貨先渡契約の要約です。

	未実現利益
オーストラリアドル建てクラス	\$ 8, 142
円建てクラス	255, 644
ファンド	444, 307
未実現利益合計	\$ 708, 093

	未実現（損失）
円建てクラス	\$ (2, 723)
ファンド	(1, 295, 717)
未実現（損失）合計	\$ (1, 298, 440)

下記は2022年11月30日現在の未決済の通貨先渡契約の要約です。

	未実現利益
オーストラリアドル建てクラス	\$ 14, 647
円建てクラス	678, 749
ファンド	812, 070
未実現額合計	\$ 1, 505, 466

	未実現（損失）
円建てクラス	\$ (535)
ファンド	(1, 235, 164)
未実現（損失）合計	\$ (1, 235, 699)

5. 金融資産と金融負債の相殺

2023年11月30日および2022年11月30日現在、ファンドが保有する金融商品の中で、財政状態計算書上で相殺表示されているものはありません（注3の総額をご参照下さい）。下記の表は、債務不履行時において、法的強制力があるマスター・ネットティング契約または類似的契約に基づき商品が相殺された場合の財務上の影響についての情報です。

下記は2023年11月30日現在における相手先別の総額および純額の金融資産および金融負債の要約です。

金融資産およびデリバティブ資産の相殺

内容	相手先	財政状態計算書 上の資産総額	財政状態計算書上の 相殺前に関する金額		
			金融商品 (1)	担保 (2)	純額 (3)
先渡	バンク・オブ・ ニューヨーク・メロン	\$ 263,786	\$ (2,723)	\$ -	\$ 261,063
先渡	シティバンク	201,291	(201,291)	-	-
先渡	ドイツ銀行	243,016	(243,016)	-	-
先物	J Pモルガン バンク・オブ・ ニューヨーク・メロン	2,150,474	(1,468,495)	-	681,979
証拠金	ニューヨーク・メロン	4,415,414	-	-	4,415,414
証拠金	シティバンク	2,271,657	(226,993)	-	2,044,664
証拠金	ドイツ銀行	3,020,767	(624,417)	-	2,396,350
証拠金	J Pモルガン	6,620,157	(53,382)	-	6,566,775
合計		\$ 19,186,562	\$ (2,820,317)	\$ -	\$16,366,245

金融負債およびデリバティブ負債の相殺

内容	相手先	財政状態計算書 上の負債総額	財政状態計算書上の 相殺前に関する金額		
			金融商品 (1)	担保 (2)	純額 (3)
先渡	ドイツ銀行 バンク・オブ・ ニューヨーク・メロン	\$ 867,433	\$ (243,016)	\$ (624,417)	\$ -
先渡	ニューヨーク・メロン	2,723	(2,723)	-	-
先渡	シティバンク	428,284	(201,291)	(226,993)	-
先物	J Pモルガン	1,468,495	(1,468,495)	-	-
ブローカーに 対する債務	J Pモルガン	53,382	(53,382)	-	-
合計		\$ 2,820,317	\$ (1,968,907)	\$ (851,410)	\$ -

- (1) 相殺可能であるが財政状態計算書上は相殺されていない関連する金融商品の総額です。
- (2) 相殺可能であるが財政状態計算書上は相殺されていない関連する現金担保および証拠金の総額です。
- (3) 契約上の相殺する権利に基づき債務不履行時の相手先別の純額を表します。

下記は2022年11月30日現在における相手先別の総額および純額の金融資産および金融負債の要約です。

金融資産およびデリバティブ資産の相殺

内容	相手先	財政状態計算書 上の資産総額	財政状態計算書上の 相殺前に関する金額		
			金融商品 ⁽¹⁾	担保 ⁽²⁾	純額 ⁽³⁾
先渡	バンク・オブ・ ニューヨーク・メロン	\$ 693,396	\$ (535)	\$ -	\$ 692,861
先渡	シティバンク	425,174	(417,462)	-	7,712
先渡	ドイツ銀行	386,896	(386,896)	-	-
先物	J Pモルガン	874,228	(874,228)	-	-
	バンク・オブ・ ニューヨーク・メロン	4,418,966	(2,969,062)	-	1,449,904
証拠金	シティバンク	1,750,690	-	-	1,750,690
証拠金	ドイツ銀行	1,773,989	(430,806)	-	1,343,183
証拠金	J Pモルガン	3,483,093	(201,915)	-	3,281,178
合計		<u>\$ 13,806,432</u>	<u>\$ (5,280,904)</u>	<u>\$ -</u>	<u>\$8,525,528</u>

金融負債およびデリバティブ負債の相殺

内容	相手先	財政状態計算書 上の負債総額	財政状態計算書上の 相殺前に関する金額		
			金融商品 ⁽¹⁾	担保 ⁽²⁾	純額 ⁽³⁾
先渡	ドイツ銀行	\$ 817,702	\$ (386,896)	\$ (430,806)	\$ -
	バンク・オブ・ ニューヨーク・メロン	535	(535)	-	-
先渡	シティバンク	417,462	(417,462)	-	-
先物	J Pモルガン	1,076,143	(874,228)	(201,915)	-
ブローカーに 対する債務	バンク・オブ・ ニューヨーク・メロン	2,969,062	(2,969,062)	-	-
合計		<u>\$ 5,280,904</u>	<u>\$ (4,648,183)</u>	<u>\$ (632,721)</u>	<u>\$ -</u>

- (1) 相殺可能であるが財政状態計算書上は相殺されていない関連する金融商品の総額です。
- (2) 相殺可能であるが財政状態計算書上は相殺されていない関連する現金担保および証拠金の総額です。
- (3) 契約上の相殺する権利に基づき債務不履行時の相手先別の純額を表します。

6. 関連当事者との取引

一方が他方を支配する、あるいは財務または事業に係る判断をするときに他方に重要な影響を及ぼす可能性がある場合、関連当事者であるとみなされます。

受託銀行および管理会社

2011年6月29日に、ファーストカリビアン・インターナショナル・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッドはトラストの受託銀行になりました。基本信託証書に従い、受託銀行と管理会社は、トラストの運営と管理について権限と全体的な責任を負い、トラストにおける受益権の分配と償還に対する責任を含みます。受託銀行と管理会社は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（USA）にファンドの日々の運営を行うように任命しました。受託銀行は、ファンドの資産から純資産価額に対して年率0.01%の報酬を受領する権利を有します。ただし、報酬は四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。受託銀行の報酬は毎日発生し、直前の評価日（毎日）時点の純資産価額に基づき計算され、四半期ごとに後払いで支払われます。

クイーンズゲート（以下、「管理会社」といいます。）は、上記のように2011年6月29日付基本信託証書を受託銀行と締結し、2012年1月27日付補足信託証書を受託銀行と締結しました。管理会社はファンド資産の管理、およびファンドの受益証券の発行ならびに買戻しを指示します。

管理会社は、ファンドの資産から純資産価額に対して年率0.01%の報酬を受領する権利を有します。ただし、報酬は四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。管理会社の報酬は毎日発生し、直前の評価日（毎日）時点の純資産価額に基づき計算され、四半期ごとに後払いで支払われます。

代行協会員および販売会社

2012年1月27日に、クイーンズゲートと三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（以下、「代行協会員」といいます。）の間で代行協会員契約が締結されました。代行協会員契約とは、管理会社によって任命された代行協会員が、ファンドの受益証券に関する目論見書を日本証券業協会（以下、「JSDA」といいます。）に提出、受益証券一口当たりの純資産価格を公表、および決算報告書その他の書類をJSDAへ提出するなどの業務を行うことに同意する契約です。代行協会員は、ファンドの受益証券の各クラスに帰属する純資産価額に対して年率0.05%の報酬を受領する権利を有します。

2012年1月27日に受益証券販売・買戻契約が管理会社と代行協会員との間で締結され、代行協会員は規定に従い日本において受益証券の販売会社の役割を担います。販売会社は、ファンドの受益証券の各クラスに帰属する純資産価額に対して年率0.95%の報酬を受領する権利を有します。代行協会員と販売会社の報酬は毎日発生し、直前の評価日時点の純資産価額に基づき計算され、四半期ごとに後払いで支払われます。

管理事務代行会社

2012年1月27日に受託銀行と管理会社は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（USA）とファンドの管理事務代行契約を締結し、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロンが、オルタナティブ投資サービス部門（以下、「BNYMAIS」といいます。）を通じてファンドの管理事務業務を行います。管理事務代行会社に対する報酬は、契約書に含まれている報酬規程に基づき計算されます。報酬は毎日発生し、四半期ごとに後払いで支払われます。ファンドの純資産が250百万未満の場合はファンドの純資産の0.08%の報酬、250百万以上500百万以下の場合は0.06%の報酬、500百万超の場合は0.04%の報酬となります。ただし、最低年間管理事務代行報酬89,000ドルがあります。

投資顧問会社

2012年1月27日付の投資顧問契約に従い、アセットマネジメントOne インターナショナル・リミテッド（以下、「投資顧問会社」といいます。）は、投資顧問として任命されました。この契約によると、投資顧問会社は、各勘定にある資産の投資および再投資を管理し、すべての権限を持って裁量により指図をすることが認められています。これらの機能は、管理会社から投資顧問会社に委託されました。

投資顧問会社は、ファンドの純資産価額に対して年率0.63%の報酬を受領する権利を有します。報酬は毎日発生し、直前の評価日時点の純資産価額に基づき計算され、四半期ごとに後払いで支払われます。

副投資顧問会社

2012年1月27日付の副投資顧問契約に基づいて、投資顧問会社は、ファンド資産の投資および再投資の運営を行うことをアспект・キャピタル・リミテッド（以下、「副投資顧問会社」といいます。）に任命しました。

副投資顧問会社は、ファンドの資産から、クラスヘッジ取引（注記8）の未実現損益を除いた米ドル建てポートフォリオ（以下、「共通ポートフォリオ」といいます。）の純資産価額に対して年率1.5%の報酬を受領する権利を有します。報酬は毎日発生し、直前の評価日時点の純資産価額に基づき計算され、四半期ごとに後払いで支払われます。

副投資顧問会社は、ファンドの資産から、毎月（以下、「報酬計算期間」といいます。）月末において、共通ポートフォリオの正味新利益の20%に相当する月次成功報酬を受領する権利を有します。正味新利益とは、（i）共通ポートフォリオの正味実現純損益に、（ii）共通ポートフォリオの正味未実現純損益の変動額を加え、（iii）共通ポートフォリオの純資産額の年率3.25%を上限とするファンドの費用（受託報酬、管理報酬、管理事務代行報酬、保管報酬、販売報酬、投資顧問報酬、副投資顧問報酬を含みます。）と、（iv）取引仲介手数料および取引費用の全額を控除し、（v）直前の報酬計算期間末日時点の正味新利益が負の数値であった場合（以下、「正味累積損失」といいます。）に、当該正味累積損失額を差し引いた金額とします。

保管銀行

2012年1月27日付の保管契約に従い、受託銀行によって、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（以下、「保管銀行」といいます。）が保管銀行に任命されました。保管銀行は、ファンドの純資産から、純資産価額に対して年率0.02%の報酬、または受託銀行と保管銀行が随時合意するその他の報酬を受領する権利を有します。また、保管銀行は、標準的な基準に従い取引手数料を受領する権利も有します。報酬は毎日発生し、直前の評価日時点の純資産価額に基づき計算され、四半期ごとに後払いで支払われます。

7. 分配

投資顧問会社は、受託銀行を代理する管理事務代行会社に、各クラスの受益証券保有者に対して分配を行うことを指示します。分配は、各クラスの受益証券に帰属するファンドの収益、実現および未実現キャピタルゲイン、ならびに／または分配可能な資金から支払われます。さらに、投資顧問会社がファンドについて合理的な水準の分配を維持することが必要であると考える場合、投資顧問会社は、受託銀行のかわりに管理事務代行会社に対し、ファンドの元本から分配金を支払うように指示をします。当期間において、下記の分配が行われました。

	2023年11月30日 終了年度	2022年11月30日 終了年度
豪ドル建てクラスから支払われた分配金	\$ (14, 096)	\$ (15, 377)
	\$ (14, 096)	\$ (15, 377)

8. 発行済受益証券

米ドル建米ドルクラス受益証券、豪ドル建豪ドルクラス受益証券、および円建円クラス受益証券という３クラスの受益証券の申込みが可能です。

当初申込期間

適格投資者による受益証券の申込みは当初申込期間において下記の発行価格で行われました。

- － 米ドル建米ドルクラス受益証券 － 一口当たり10.00米ドル
- － 豪ドル建豪ドルクラス受益証券 － 一口当たり10.00豪ドル
- － 円建円クラス受益証券 － 一口当たり10,000円

当初申込期間に申し込まれた受益証券は2012年3月16日に発行されました。

継続申込期間

各クラスの受益証券は、取引日（各営業日）の当該申込価格で申込みが可能です。受益証券の一口当たりの申込価格は、当該取引日にあたる評価日の評価時点におけるそのクラスの受益証券の一口当たり純資産価格となります。

最低申込金額

米ドル建米ドルクラス受益証券の投資家一人当たりの最低申込金額は、100米ドル以上0.01米ドル単位または10口以上0.001口単位です。豪ドル建豪ドルクラス受益証券の投資家一人当たりの最低申込金額は、100豪ドル以上0.01豪ドル単位または10口以上0.001口単位です。円建円クラス受益証券の投資家一人当たりの最低申込金額は、10,000円以上1円単位または1口以上0.001口単位です。

償還

管理事務代行会社が取引日の少なくとも1営業日前までに償還請求書を受け取った場合、受益者の選択で、ファンドの受益証券を買戻価格で各取引日に償還することができます。一口当たりの買戻価格は、当該取引日にあたる評価日の評価時点におけるそのクラスの受益証券の一口当たり純資産価格となります。

2023年11月30日に終了した期間における取引は下記のとおりです。

	米ドルクラス (米ドル建)	豪ドルクラス (豪ドル建)	円クラス (円建)	合計
期首受益証券口数	799,328	90,754	357,574	1,247,656
当期発行受益証券口数	639,612	158,304	69,680	867,596
当期償還受益証券口数	(295,600)	(147,926)	(40,532)	(484,058)
期末受益証券口数	1,143,340	101,132	386,722	1,631,194
一口当たり純資産価格	\$ 12.63	AU\$ 10.03	¥ 10,690.68	

2022年11月30日に終了した期間における取引は下記のとおりです。

	米ドルクラス (米ドル建)	豪ドルクラス (豪ドル建)	円クラス (円建)	合計
期首受益証券口数	386,627	98,671	239,396	724,694
当期発行受益証券口数	651,180	－	213,808	864,988
当期償還受益証券口数	(238,479)	(7,917)	(95,630)	(342,026)
期末受益証券口数	799,328	90,754	357,574	1,247,656
一口当たり純資産価格	\$ 12.50	AU\$ 10.18	¥ 11,129.30	

ファンドの元本は主にこれらの受益証券数で表示されます。注記1で記載されている目的、注記9で記載されているリスク管理方針に従い、償還に対応する十分な流動性を維持し、必要であれば、短期の借入や投資の償還により流動性を上げながら、ファンドは受益者から受け取った申込金を適切な投資商品で運用するよう努力します。

2023年11月30日現在および2022年11月30日現在、ファンドの全受益証券は単独の受益者に保有されています。

9. 財務リスク管理

財務リスク要因

ファンドの活動により、市場リスク（価格リスク、通貨リスク、および金利リスクを含みます。）、信用リスク、流動性リスクなどさまざまな財務リスクが発生します。

ファンドは、保管リスクなど運営リスクを有しています。保管リスクは、保管されている有価証券の損失リスクであり、保管銀行の支払不能や過失によっておきます。法的枠組みが適切に実施され、保管銀行に委託されている有価証券の価値の損失リスクを除去しますが、怠慢などの事象により、ファンドによる有価証券の譲渡が一時的に損なわれることがあるかもしれません。

ファンドの全体的なリスク管理プログラムは、ファンドが関連するリスクレベルにより生じる利益を最大にすること、およびファンドの財務成績における潜在的な負の影響を最小限に抑えることを求めています。ファンドは、あるリスクの発生を軽減するために通貨先渡契約を使います。

すべての有価証券投資には元本損失のリスクがあります。長期債務証券に係る元本の損失は最大でもそのポジションの公正価値までに限定されます。先物売りポジションにおける元本の最大損失は無制限です。先物買いポジションおよび通貨先渡契約における元本の損失は、最大でもそのポジションの想定元本までに限定されます。

マーケットリスク

a) 価格リスク

ファンドは、債務証券および派生商品の価格リスクを有しています。それは、将来の価格が不安定なことによりファンドが保有する投資から生じます。非貨幣性金融商品は米ドル以外の通貨建てであり、当初外貨で表示され、米ドルに換算された価格は、為替レートの変更ににより変動します。下記（b）「為替リスク」では、価格リスクのうちこの要素がどのように管理され、測定されるかについて説明しています。

派生商品には、その価値がひとつあるいは複数の原証券、金融ベンチマーク、あるいは金融指数にリンクした商品および契約が含まれます。派生商品の価値は、原資産の価格変動に大きく左右されます。多くの派生商品は、その取引が締結されたときに支払い、あるいは預かった金額に対し、市場のエクスポージャーが極めて大きくなります。不利な市場変動が比較的小規模であっても、投資の全額を失うばかりでなく、本来の投資金額を超える損失をファンドが被ることがあります。ファンドが取得しようとする派生商品を、満足できる条件で特定の時点において取得できるという保証はなく、取得自体ができるという保証也没有ありません。

ファンドの方針は、ファンドが設定している投資制限の範囲内で、有価証券とその他の金融商品の分散および選択をととして価格リスクを管理します。

11月30日現在、価格リスクのある債務および関連派生商品の公正価値は、注記3および4に記載されています。注記4には、ファンドの派生取引における想定エクスポージャーと業界に対するエクスポージャーが含まれています。

投資顧問会社は、ファンドの運用戦略をベンチマークやその他の指標をたどるように管理していません。2023年11月30日現在、ファンドの市場リスクは3つの主要な要素の影響を受けます。実際の市場価格の変化、金利および為替の変動です。2023年11月30日において、その他の変数が一定の状態で保たれているとして、ポートフォリオ（先物取引を除きます。）が10%上昇した場合、受益者に帰属する純資産は約2,178,178米ドル（2022年：2,670,603米ドル）上昇したことになります。逆に、2023年11月30日において、ポートフォリオ（先物取引を除きます。）が10%下落した場合、受益者に帰属する純資産は約(2,178,178)米ドル（2022年：(2,670,603)米ドル）下落したことになります。

上記に記載された感応度分析は、11月30日現在のポートフォリオ（先物取引を除きます。）の構成に基づいています。ファンドの運用ポートフォリオの構成は、徐々に変更する可能性があります。したがって、11月30日現在で準備された感応度分析は、将来におけるファンドの純資産への影響を示すものとは限りません。

2023年11月30日において、先物取引の想定価値（金利リスクの影響を受ける想定元本が（113,906,321）米ドルの金融先物を除きます。）が、その他の変数が一定の状態を保たれているとして、10%上昇あるいは下落した場合に、受益者に帰属する純資産の各々の上昇、下落は下記のとおりになります。

	正味想定元本	想定元本10%変動による純資産 価格の上昇／下落（＋／－）値
先物契約		
通貨	\$ (684,644)	68,464
エネルギー	(1,971,648)	197,165
穀物	5,724,956	572,496
インデックス	(2,766,999)	276,700
ロンドン金属	(3,304,140)	330,414
材料	(40,580)	4,058
畜産物	(1,389,280)	138,928
金属	(1,388,010)	138,801
先物契約合計額（正味想定元本）	\$ (5,820,345)	

2022年11月30日において、先物取引の想定価値（金利リスクの影響を受ける想定元本が（45,313,418）米ドルの金融先物を除きます。）が、その他の変数が一定の状態を保たれているとして、10%上昇あるいは下落した場合に、受益者に帰属する純資産の各々の上昇、下落は下記のとおりになります。

	正味想定元本	想定元本10%変動による純資産 価格の上昇／下落（＋／－）値
先物契約		
通貨	\$ (342,906)	34,291
エネルギー	(36,502)	3,650
穀物	1,135,066	113,507
インデックス	435,825	43,583
ロンドン金属	(343,961)	34,396
材料	(76,460)	7,646
畜産物	(1,251,843)	125,184
金属	(592,115)	59,212
先物契約合計額（正味想定元本）	\$ (1,072,896)	

上記の感応度分析は、11月30日現在のポートフォリオにおける先物契約に基づいています。ファンドの先物契約の構成は、徐々に変更する可能性があります。したがって、11月30日現在で準備された感応度分析は、将来におけるファンドの純資産への影響を示すものとは限りません。

副投資顧問会社は、システム化された定量的運用プログラムを導入し、ファンドの運用目標を実現することを目指しています。プログラムは、完全にシステム化され、幅広く分散されたグローバルトレーディングシステムを採用し、そのシステムによって、主に上場先物取引および為替先渡取引を通じ、通貨、金利、株式、株価指数、債務証券（債券を含みます。）、および商品（エネルギー、金属、農産物を含みます。）を含む（しかし、これに限定しません。）幅広い金融商品やその他資産の市場のトレンドを伴う動きを見極め、有効に活用するべく、多様な戦略を展開します。

それぞれの市場に対して比較的小さなエクスポージャーを維持し、様々な取引のポジションを保ちながら、副投資顧問会社は長期的な分散を目指しています。ファンドの方針は、分散により価格リスクの管理をすることです。一般的に、プログラムは多数の取引市場にポジションを維持します。その他の要因のなかでも、シグナルの強度、変動性および流動性によって、市場への集中が変化します。収益の機会がみられるとき、利回りの可能性が最大限になるように設計された市場リスクの配分を十分に分散するように構築することに重点が置かれます。市場に対するエクスポージャーは毎日モニターされ、各市場におけるプログラムのエクスポージャーのレベルは常に定量化が可能であり、市場の変動性と流動性に従って変化します。

プログラムは完全自動化システムを採用し、市場のデータ（現在および過去の価格データを含みます。）を収集し、処理分析を行い、市場動向を見定め有効に使います。いろいろな期間単位でトレンドを見ながら、様々な頻度でプログラムは取引を行います。総合シグナルにしたがって、ポジションを取り、リスクを統制するように調整します。

b) 為替リスク

ファンドは国際的に運用し、機能通貨である米ドル以外の通貨建ての貨幣性および非貨幣性資産を保有しています。先物取引、他の通貨で認識されている貨幣性資産および貨幣性負債の価値が為替レートの変動により I F R S 第 7 号に規定されている為替リスクが発生します。I F R S 第 7 号では、非貨幣性資産および負債に関する為替のエクスポージャーは、市場価格リスクの一要素であり、為替リスクではないとみなしています。ファンドは、すべての外貨建ての資産および負債のエクスポージャーをモニターしています。

下記の表は、2023年11月30日現在において米ドル以外の通貨建てであるファンドの貨幣性資産および負債の要約です。

外貨建て資産および負債の集中度

(米ドル換算額)	スイスフラン	ユーロ	香港ドル	韓国ウォン	マレーシアリンギット	スウェーデンクローナ	シンガポールドル	タイバーツ	トルコリラ	南アフリカランド
資産	13, 822	33, 486	45, 554	325, 295	10, 200	200, 835	144	20, 068	107, 116	5, 960
(米ドル換算額)	豪ドル	カナダドル	ポンド	円						
負債	(33, 689)	(56, 018)	(85, 856)	(45, 822)						

下記の表は、2022年11月30日現在において米ドル以外の通貨建てであるファンドの貨幣性資産および負債の要約です。

外貨建て資産および負債の集中度

(米ドル換算額)	スイス フラン	韓国 ウォン	マレーシア リンギット	スウェーデ ンクローナ	タイバーツ	トルコリラ	南アフリカ ランド
資産	4,377	335,365	3,150	949	57,345	78,282	50,652
(米ドル換算額)	豪ドル	カナダ ドル	ユーロ	ポンド	香港 ドル	円	シンガポー ルドル
負債	(16,257)	(71,370)	(56,042)	(20,221)	(42,852)	(5,290)	(3,575)

下記の表は、2023年11月30日現在の為替相場の変動に対するファンドの貨幣性資産および負債の純額の感応度の要約です。その他の変数が一定の状態を保たれているとして、為替レートが米ドルに対して下記の表の変動率で上昇／下落したという仮定に基づき分析されています。

(米ドル換算額)	スイス フラン	ユーロ	香港 ドル	韓国 ウォン	マレーシア リンギット	スウェーデ ンクローナ	シンガポー ルドル	タイバーツ	トルコリラ	南アフリカ ランド
為替レート変動率	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
純資産額変動額	1,382	3,349	4,555	32,529	1,020	20,084	14	2,007	10,712	596
(米ドル換算額)	豪ドル	カナダ ドル	ポンド	円						
為替レート変動率	10%	10%	10%	10%						
純資産額変動額	(3,369)	(5,602)	(8,586)	(4,581)						

下記の表は、2022年11月30日現在の為替相場の変動に対するファンドの貨幣性資産および負債の純額の感応度の要約です。その他の変数が一定の状態を保たれているとして、為替レートが米ドルに対して下記の表の変動率で上昇／下落したという仮定に基づき分析されています。

(米ドル換算額)	スイス フラン	韓国 ウォン	マレーシア リンギット	スウェーデ ンクローナ	タイバーツ	トルコリラ	南アフリカ ランド
為替レート変動率	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
純資産額変動額	438	33,537	315	95	5,734	7,828	5,065
(米ドル換算額)	豪ドル	カナダ ドル	ユーロ	ポンド	香港 ドル	円	シンガポー ルドル
為替レート変動率	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
純資産額変動額	(1,626)	(7,137)	(5,604)	(2,022)	(4,285)	(529)	(358)

米ドル以外の通貨建ての債券および短期マネーマーケット商品へのファンド資産の運用により、ファンドは、為替レートの変動の影響を受けます。運用が米ドル以外の債券および短期マネーマーケット商品で行われている場合、ファンドは為替取引を行います。このような取引は、為替リスクを取り除きませんが軽減し、米ドルに対する通貨の下落からファンド資産のすべて、あるいは一部を守るように組み立てられています。

豪ドルおよび円クラス（注記8）に関して、ファンドは各クラスの受益者のために為替取引を行っています。

為替取引が生じる市場は激しく変動し、非常に特殊であり、極めて専門的です。流動性と価格の変動を含めた著しい変動が、短時間に、時には分単位で、市場に発生します。

2023年11月30日現在において、先渡取引以外の損益を通して公正価値で測定するファンドの金融資産および負債は、先物取引の32,909米ドル（2022年：（48,175）米ドル）を除いて、米ドルに換算替えられています。

2023年11月30日現在に、その他の変数が一定の状態を保たれているとして、下記通貨と米ドルの間の為替レートが10%上昇／下落した場合、受益者に帰属する純資産の増加あるいは減少は、下記のようになります。

通貨	2023年11月30日現在 先渡取引の 未実現利益（損失）※	為替レート変動10% による純資産価格の 上昇／下落（＋／－） 値
豪ドルー米ドル	\$ (37,550)	\$ 62,821
ブラジルレアルー米ドル	(2,884)	344,712
カナダドルー米ドル	(67,901)	506,790
スイスフランーユーロ	(14,387)	1,308
スイスフランー米ドル	(130,599)	423,059
チリペソー米ドル	(38,920)	123,892
中国元ー米ドル	(46,595)	139,660
コロンビアペソー米ドル	(6,194)	179,381
チェココルナーユーロ	(10,749)	977
ユーローポンド	35,012	3,183
ユーローハンガリーフォリント	3,994	363
ユーロー円	10,264	933
ユーローノルウェークローネ	(80,447)	7,314
ユーローポーランドズロチ	36,351	3,304
ユーロースウェーデンクローナ	(174,937)	15,904
ユーロー米ドル	(50,524)	70,851
ポンドー米ドル	7,964	145,191
インドネシアルピアー米ドル	(9,568)	30,957
イスラエルシェケルー米ドル	(100,950)	170,095
インドルピーー米ドル	(1,600)	144,840
円ー米ドル	(105,753)	710,575
韓国ウォンー米ドル	(15,426)	191,542
メキシコペソー米ドル	43,102	539,311
ニュージーランドドルー米ドル	(19,011)	46,205
ペルーソルー米ドル	(1,596)	15,160
フィリピンペソー米ドル	(1,609)	20,161
シンガポールドルー米ドル	(16,004)	296,600
タイバーツー米ドル	(1,205)	95,120
台湾ドルー米ドル	(48,165)	309,818
米ドルー南アフリカランド	(5,523)	29,448
	\$ (851,410)	

※クラスヘッジ取引に用いられる通貨先渡取引は合計に含まれていません。

通貨	2023年11月30日現在 外貨建て先物取引の 未実現利益（損失）※※	為替レート変動10% による純資産価格の 上昇／下落（＋／－）値
豪ドル	\$ (6,194)	\$ 619
カナダドル	(64,946)	6,495
スイスフラン	(14,476)	1,448
ユーロ	18,262	1,826
ポンド	188,614	18,861
香港ドル	152,672	15,267
円	3,218	322
韓国ウォン	(17,965)	1,796
マレーシアリンギット	113	11
スウェーデンクローナ	(196,299)	19,630
シンガポールドル	796	80
タイバーツ	(9,071)	907
トルコリラ	(13,708)	1,371
南アフリカランド	(8,107)	811
	\$ 32,909	

※※米ドル分は合計に含まれていません。

2022年11月30日現在に、その他の変数が一定の状態を保たれているとして、下記通貨と米ドルの間の為替レートが10%上昇／下落した場合、受益者に帰属する純資産の増加あるいは減少は、下記ようになります。

通貨	2022年11月30日現在 先渡取引の 未実現利益（損失）※	為替レート変動10% による純資産価格の 上昇／下落（＋／－）値
豪ドル－米ドル	\$ (1,644)	\$ 40,817
ブラジルレアル－米ドル	(15,912)	23,408
カナダドル－米ドル	(17,801)	271,780
スイスフラン－ユーロ	(16,610)	1,511
スイスフラン－米ドル	(216,917)	401,691
チリペソ－米ドル	49,343	119,936
中国元－米ドル	(30,592)	133,060
コロンビアペソ－米ドル	38,680	128,868
チェココルナ－ユーロ	2,905	264
ユーロ－ポンド	68,464	6,224
ユーロ－ハンガリーフォリント	(17,880)	1,625
ユーロ－円	69,289	6,299
ユーロ－ノルウェークローネ	3,395	308
ユーロ－ポーランドズロチ	25,505	2,319
ユーロ－スウェーデンクローナ	36,028	3,274
ユーロ－米ドル	(95,733)	156,485
ポンド－米ドル	20,391	48,303
インドネシアルピア－米ドル	(6,934)	140,694
イスラエルシェケル－米ドル	(149,788)	344,979
インドルピー－米ドル	5,548	60,556
円－米ドル	(112,951)	91,295

韓国ウォン－米ドル	(60, 030)	13, 997
メキシコペソ－米ドル	24, 062	227, 406
ニュージーランドドル－米ドル	98, 113	182, 739
ペルーソール－米ドル	(15, 344)	26, 534
フィリピンペソ－米ドル	(16, 431)	31, 643
シンガポールドollar－米ドル	(7, 151)	715
タイバーツ－米ドル	(66, 384)	106, 638
台湾ドル－米ドル	11, 967	38, 804
米ドル－南アフリカランド	(28, 682)	52, 867
	\$ (423, 094)	

※クラスヘッジ取引に用いられる通貨先渡取引は合計に含まれていません。

通貨	2022年11月30日現在 外貨建て先物取引の 未実現利益（損失）※※	為替レート変動10% による純資産価格の 上昇／下落（＋／－）値
豪ドル	\$ 8, 352	\$ 835
カナダドル	47, 426	4, 743
スイスフラン	10, 166	1, 017
ユーロ	124, 242	12, 424
ポンド	(21, 473)	2, 147
香港ドル	(60, 575)	6, 057
円	3, 243	324
韓国ウォン	(89, 248)	8, 925
マレーシアリングgit	191	19
スウェーデンクローナ	(6, 980)	698
シンガポールドollar	(2, 545)	255
タイバーツ	3, 673	367
トルコリラ	(1, 486)	149
南アフリカランド	(63, 161)	6, 316
	\$ (48, 175)	

※※米ドル分は合計に含まれていません。

ファンドの方針にしたがい、副投資顧問会社は、毎日、ファンドの為替正味ポジションをモニターしています。

c) 金利リスク

金利変動に対するファンドのエクスポージャーは、固定金利債務証券へのファンドの運用に関連します。国債は、下記満期のゼロクーポン債です。

2023年11月30日現在	<u>満期</u>
米国財務省短期証券 (想定元本22, 880, 000米ドル)	2023-2024
2022年11月30日現在	<u>満期</u>
米国財務省短期証券 (想定元本26, 980, 000米ドル)	2022-2023

さらに、ファンドは、2023年11月30日現在、正味想定元本が(113,906,321)米ドル(2022年11月30日：(45,313,418)米ドル)で満期が1ヶ月から3年までの金融先物契約を保有しています。

確定利付資産の価値は、金利の変動に伴い変動します。通常、金利が上昇する場合、確定利付資産の価値は下落する傾向にあります。反対に、金利が下落する場合、確定利付資産の価値は上昇する傾向にあります。確定利付資産の価値の変動の度合いは、確定利付資産の満期と発行条件を含め、数多くの要因に左右されます。

2023年および2022年11月30日現在において、その他の変数が一定の状態では保たれているとして、金利が100ベースポイント低下した場合、受益者に帰属する純資産への影響は、ファンドにとって重大なものではありませんでした。

ファンドの方針にしたがい、副投資顧問会社は、毎日、ファンドの総合的な金利感応度をモニターしています。

信用リスク

ファンドは信用リスクを有しています。それは、債務返済が不履行となったことにより、金融商品に係る一方の当事者が、他方に対する財務上の損失をもたらすというリスクです。

ファンドが行っている主な集中は、ファンドの債務証券への投資から発生します。ファンドは、派生商品取引、証拠金勘定、現金および現金同等物、ブローカーからの未収金、ならびにその他未収金残高に係るカウンターパーティリスクも有しています。現金残高を確保し、有価証券取引を大手の金融機関と行うことによって、信用リスクを軽減するようにしています。

2023年11月30日現在の各クラスの債券に係る信用格付け別ポートフォリオ

	信用格付け	ドル金額	純資産価格の%
米国財務省短期証券	AA+	22,372,123	52.02

2022年11月30日現在の各クラスの債券に係る信用格付け別ポートフォリオ

	信用格付け	ドル金額	純資産価格の%
米国財務省短期証券	AA+	26,436,266	66.99

ファンドは、信用リスクおよび予想信用損失を、倒産確率、デフォルト時エクスポージャーおよび債務不履行時損失を用いて測定します。また経営者は予想信用損失を算定するために過去分析と将来情報の両方を考慮します。ファンドに対して潜在的に信用リスクをもたらす現金同等物は、主にコール資金と当初から3ヶ月以内に満期が到来する投資からなります。現金同等物は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン(S&P格付けがAです。)に預け入れていますので、重要な信用リスクがあるとは考えられません。

2023年11月30日現在、ファンドのすべての金融商品がバンク・オブ・ニューヨーク・メロン、ドイツ銀行、シティバンクおよびJ Pモルガンに保管されています（2022年11月：バンク・オブ・ニューヨーク・メロン、ドイツ銀行、シティバンクおよびJ Pモルガン）。これらのブローカーは主要な証券取引所のメンバーであり、2023年11月30日現在、S & Pの格付けは、それぞれA、A、B B B +、A -（2022年11月30日：A、A -、B B B +、A -）です。ファンドはブローカーをモニターし、いずれも適切な保管銀行であると信じていますが、支払不能にならないという保証はありません。連邦破産法と1970年証券投資家保護法は、ブローカーの倒産、支払不能、解散などが起こった場合に、顧客の財産を保護しようとしませんが、ファンド資産の保管を行っているブローカーの倒産によって、（i）一定期間において資産が利用できない、（ii）完全回収はできないが最終的に資産を受領する、あるいは（iii）その両者が起こるために、ファンドは損失を計上しないということは確かではありません。4つの保管銀行（2022年11月30日：4つ）に実質的にすべてのファンド資産の保管を委任しているために、そのような損失は重大になり得るとともに、運用目的を達成しようとするファンドの能力を著しく損なう可能性があります。カウンターパーティは直近の期間における契約上の義務を履行するための強固な能力を有しているため、経営者は倒産確率はゼロに近いと考えています。結果として、減損はファンドにとって全体として重要な金額になり得ないと考えられたため、12ヶ月の予想信用損失に基づく損失評価引当金は認識されていません。

認可されたブローカーを使ってすべての取引の受け渡しが行われると、決済され、支払が行われます。ブローカーが支払を受領すると直ちに売却された有価証券の受け渡しが行われますので、債務不履行のリスクは最少であると思われます。有価証券がブローカーに受領されると直ちに購入側の支払が行われます。いずれかの当事者がその義務の履行を行うことができない場合、その取引は失敗となります。

ファンドの非上場派生商品に係るカウンターパーティは大手金融機関です。

派生商品の残高に係る信用リスクがファンドの財政状態に重要な不利な影響を及ぼすと、経営者は考えておりません。ファンドの方針にしたがい、副投資顧問会社は、ファンドの信用ポジションを毎日モニターしています。

2023年11月30日に信用強化を行う前の信用リスクに対する最大のエクスポージャーは、財政状態計算書に記載されている金融資産の簿価です。

流動性リスク

流動性リスクとは、債務の期限が到来しているが、債務全額を決済するのに十分な現金資金を調達できない、あるいはかなり不利な条件で資金調達を行わざるを得ないというリスクです。

ファンドは派生商品のマージンコールの毎日の決済と、償還可能株式の毎日の現金償還を行っています。活発な市場で取引され、容易に処分することができる投資商品で資産の大半を運用することが方針です。投資のうち限られた割合の資産のみが証券取引所で活発に取引されていません。

ファンドは、財政状態計算書に計上されている金額を超える市場リスクを大なり小なり有する先物、先渡契約を行います。契約の想定元本は、金融商品へのファンドの参加の度合いを表しています。このような契約に伴う市場リスクは、これらの商品に係る為替レート、指標、および有価証券の価値の起こりうる変動により発生します。その他の市場リスクおよび信用リスクは、商品が市場で流動しない可能性、商品の価値の変動が為替、商品、指標、あるいは有価証券の価値の変動と直接相互関連しない可能性、あるいは、先物もしくは先渡契約に係るカウンターパーティが契約条件に基づいて行う義務が不履行となる可能性を含みます。

下記の表は、財政状態計算書の日において、最も早い契約満期日までの残存期間により満期日でグループ分けをし、総額ベースで決済されるファンドの派生金融負債を分析しています。表の金額は、現在価値に割引いていない契約上のキャッシュ・フローです。

<u>2023年11月30日現在：</u>	3ヶ月以下	3ヶ月超から 12ヶ月まで	1年超	合計
損益を通じて公正価値を測定する 金融負債（純額決済派生商品）	\$ (2,402,156)	\$ (297,434)	\$ (67,345)	\$ (2,766,935)

2022年11月30日現在：

損益を通じて公正価値を測定する 金融負債（純額決済派生商品）	\$ (2,012,864)	\$ (271,267)	\$ (27,711)	\$ (2,311,842)
-----------------------------------	----------------	--------------	-------------	----------------

ファンドの派生商品ではない金融負債は、財政状態計算書の日から3ヶ月以内に支払期日が到来します。

公正価値の開示

I F R S第13号によって、ファンドは、測定の際に使用するインプットの重要性を反映する公正価値のヒエラルキーを使い公正価値の測定を分類することが要求されます。公正価値のヒエラルキーは次のレベルがあります。

- ・ 同一資産あるいは負債に対する活発な市場における（未調整）公表価格（レベル1）
- ・ 資産あるいは負債について、直接（すなわち、価格として）または間接的（すなわち、価格から算出して）に観察可能で、レベル1に含まれる公表価格以外のインプット（レベル2）
- ・ 観察可能な市場データを基準としていない資産あるいは負債に係るインプット（つまり、観察不可能なインプット）（レベル3）

公正価値の測定を全体的に分類する場合、公正価値のヒエラルキーのレベルは、公正価値の測定の全体に対して重要である最も低いレベルのインプットを基準に決定されます。この目的のために、インプットの重要性は、公正価値の測定の全体に対して評価されます。観測不可能なインプットに基づいて重要な調整を必要とする観察可能なインプットを公正価値の測定で使用する場合、その測定はレベル3となります。公正価値の測定の全体に対して特定のインプットの重要性を評価する際には、資産あるいは負債に特定な要因を考慮にいれながら、判断が必要となります。

「観察可能」とする決定には、ファンドによる重要な判断を必要とします。市場データが入手容易であり、定期的に配賦あるいは更新され、信頼性があり検証可能であり、専有情報ではなく、関連する市場において活発に関与している独立した発信元によって提供されるものを、ファンドは観察可能なデータであるとしなします。

下記の表は、2023年11月30日に測定されたファンドの（クラス別の）金融資産および負債を、公正価値のヒエラルキーで分類しています。

資産	レベル 1	レベル 2	レベル 3	残高合計
米国財務省短期証券	\$ 22,372,123	\$ —	\$ —	\$ 22,372,123
通貨先渡契約	—	708,093	—	708,093
先物	2,150,474	—	—	2,150,474
資産合計	\$ 24,522,597	\$ 708,093	\$ —	\$ 25,230,690
負債	レベル 1	レベル 2	レベル 3	残高合計
通貨先渡契約	\$ —	\$ (1,298,440)	\$ —	\$ (1,298,440)
先物	(1,468,495)	—	—	(1,468,495)
負債合計	\$ (1,468,495)	\$ (1,298,440)	\$ —	\$ (2,766,935)

下記の表は、2022年11月30日に測定されたファンドの（クラス別の）金融資産および負債を、公正価値のヒエラルキーで分類しています。

資産	レベル 1	レベル 2	レベル 3	残高合計
米国財務省短期証券	\$ 26,436,266	\$ —	\$ —	\$ 26,436,266
通貨先渡契約	—	1,505,466	—	1,505,466
先物	874,228	—	—	874,228
資産合計	\$ 27,310,494	\$ 1,505,466	\$ —	\$ 28,815,960
負債	レベル 1	レベル 2	レベル 3	残高合計
通貨先渡契約	\$ —	\$ (1,235,699)	\$ —	\$ (1,235,699)
先物	(1,076,143)	—	—	(1,076,143)
負債合計	\$ (1,076,143)	\$ (1,235,699)	\$ —	\$ (2,311,842)

その価値が活発な市場における市場価格に基づき、かつレベル1に分類される投資には、活発な上場株式、大部分の取引所で取引される派生商品、多くの米国財務省短期証券、および米国以外のソブリン債などがあります。ファンドは、これらの投資に係る公表価格を調整しません。

活発であるとは思われないが、公表市場価格、ディーラーの気配値、観察可能なインプットによって立証される代替価格発信元に基づいて評価される市場で取引する金融商品はレベル2に分類されます。これらには、非投資適格ソブリン債、大部分の投資適格社債、償還制限のないその他のファンドへの投資、取引量の少ない上場株式、および一部の店頭取引派生商品を含みます。レベル2では活発な市場で取引されていない、かつ／あるいは譲渡制限のあるポジションを含むために、評価は、一般的に入手可能な市場情報に基づく非流動性、かつ／あるいは譲渡不能を反映するように調整されます。

取引はめったに行われない、あるいは全く行われないために、レベル3に分類される投資は重要な観察不可能なインプットを有しています。これらの有価証券については観察可能な価格を入手できないため、評価手法が公正価値を導くために使用されます。11月30日現在、ファンドはレベル3の投資を保有していません。

10. 公正価値で計上されていないが公正価値が開示される資産および負債

投資は公正価値で表示されます。すべてのその他の金融資産・負債の簿価は、短期の商品であるため、公正価値に近似していると考えられます。

現金および現金同等物は、現金有高および銀行預金を含みます。証拠金は、取引所先物取引、通貨先渡取引のための担保預け金です。現金および現金同等物、証拠金勘定は、レベル1のインプットを使用することによって決定されます。

未収受入出資金およびその他の資産は、ファンドに対するその他の義務の履行に係る契約上の金額を含みます。未払金および未払費用は、償還および支出の決済のためのファンドによる契約金額および義務を表します。これらの未収金および未払金は、レベル2のインプットを使用することによって決定されます。

参加型受益証券の買取請求権の価値は、ファンドが設定している規定に従い、総資産および他のすべての負債の差額に基づいて計算されます。これらの参加型受益証券は活発な市場で取引されるものではありません。参加型受益証券は保有者の選択により償還可能なものであり、ファンドのユニットクラス（注2および注8）に帰属する純資産価値の持分に比例した割合に応じた価額で、取引日であればいつでもファンドに対して売り戻すことが出来ます。公正価値は、要求払い金額を支払要求可能な最初の日から割り引いた金額に基づいています。割引計算の影響は軽微です。したがって、レベル2は受益者帰属純資産の区分として最も適切とみなされています。

11. コミットメント

通常の取引のなかで、受託銀行と管理会社は、ファンドの代わりに、様々な表明および保証を含み、一般的な補償を条件とする契約を締結します。これらの取引において、受託銀行と管理会社の最も大きいエクスポージャーは未確認です。しかし、まだ発生していないが、将来起こり得る受託銀行と管理会社に対するクレームを含んでいますが、これまでの経験に基づき、経営者はファンドに対する損失リスクは起こりえないと考えています。

12. 後発事象

経営者は、2023年12月 1 日から2024年 5 月10日までの期間に係る後発事象を評価しました。

当該期間において、3,950,676米ドルの申込みおよび13,450,195米ドルの買戻しが行われました。
その他ファンドに関連して開示すべき後発事象はありません。

(3) 投資有価証券明細表等

D I A M ケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド投資運用附属明細表（未監査）2023年11月30日に終了した年度

先渡契約	満期日	未実現利益
775,000豪ドル買い、507,710米ドル売り	2023年12月20日	\$ 4,780
10,492,316ブラジルレアル買い、2,125,000米ドル売り	2023年12月20日	3,915
3,478,291カナダドル買い、2,550,000米ドル売り	2023年12月20日	14,376
1,898,085スイスフラン買い、2,150,000米ドル売り	2023年12月20日	23,426
1,922,955スイスフラン買い、2,000,000ユーロ売り	2023年12月20日	21,882
615,174,813チリペソ買い、700,000米ドル売り	2023年12月20日	4,381
5,728,879中国元買い、800,000米ドル売り	2023年12月20日	3,000
821,897,185コロンビアペソ買い、200,000米ドル売り	2023年12月20日	2,805
22,084,808チェココナ買い、900,000ユーロ売り	2023年12月20日	7,809
150,000ユーロ買い、57,070,553ハンガリーフォリント売り	2023年12月20日	331
50,000ユーロ買い、217,537ポーランドズロチ売り	2023年12月20日	111
6,400,000ユーロ買い、1,024,951,882円売り	2023年12月20日	38,672
75,000ユーロ買い、881,641ノルウェークローネ売り	2023年12月20日	67
800,000ユーロ買い、866,582米ドル売り	2023年12月20日	5,427
1,750,000ポンド買い、2,177,123米ドル売り	2023年12月20日	32,299
8,507,398ポンド買い、9,800,000ユーロ売り	2023年12月20日	58,714
966,084,595ハンガリーフォリント買い、2,525,000ユーロ売り	2023年12月20日	9,854
3,126,871,004インドネシアルピア買い、200,000米ドル売り	2023年12月20日	1,234
2,295,879イスラエルシェケル買い、600,000米ドル売り	2023年12月20日	15,840
153,926,028円買い、950,000ユーロ売り	2023年12月20日	6,340
193,002,675円買い、1,300,000米ドル売り	2023年12月20日	6,340
328,974,025韓国ウォン買い、250,000米ドル売り	2023年12月20日	4,085
82,409,990メキシコペソ買い、4,675,000米ドル売り	2023年12月20日	49,138
6,827,282ノルウェークローネ買い、575,000ユーロ売り	2023年12月20日	5,790
1,250,000ニュージーランドドル買い、749,263米ドル売り	2023年12月20日	20,801
379,187ペルーソル買い、100,000米ドル売り	2023年12月20日	1,336
5,581,975フィリピンペソ買い、100,000米ドル売り	2023年12月20日	598
19,427,438ポーランドズロチ買い、4,400,000ユーロ売り	2023年12月20日	61,274
19,181,201スウェーデンクローナ買い、1,675,000ユーロ売り	2023年12月20日	4,718
881,138シンガポールドル買い、650,000米ドル売り	2023年12月20日	9,428
30,999,137タイバーツ買い、875,000米ドル売り	2023年12月20日	7,778
1,593,996台湾ドル買い、50,000米ドル売り	2023年12月20日	1,138
100,000米ドル買い、399,802,855コロンビアペソ売り	2023年12月20日	1,348
100,000米ドル買い、1,542,365,125インドネシアルピア売り	2023年12月20日	739
200,000米ドル買い、266,898シンガポールドル売り	2023年12月20日	258
250,000米ドル買い、4,318,568メキシコペソ売り	2023年12月20日	2,439
300,000米ドル買い、9,331,767台湾ドル売り	2023年12月20日	623
350,000米ドル買い、1,715,040ブラジルレアル売り	2023年12月20日	2,014
400,000米ドル買い、33,345,707インドルピー売り	2023年12月20日	265
50,000米ドル買い、2,769,550フィリピンペソ売り	2023年12月20日	87
500,000米ドル買い、9,298,361南アフリカランド売り	2023年12月20日	7,397

550,000米ドル買い、710,229,385韓国ウォン売り	2023年12月20日	1,450
1,011,131豪ドル買い、660,695米ドル売り	2023年12月29日	8,142
4,182,358,582円買い、28,095,805米ドル売り	2023年12月29日	253,188
378,499米ドル買い、55,478,029円売り	2023年12月29日	2,456
		\$ 708,093

先渡契約	満期日	未実現（損失）
55,478,029円買い、377,031米ドル売り	2023年12月4日	\$ (2,723)
775,000豪ドル買い、507,710米ドル売り	2023年12月20日	(1,841)
8,211,768ブラジルレアル買い、1,675,000米ドル売り	2023年12月20日	(8,813)
135,532カナダドル買い、100,000米ドル売り	2023年12月20日	(78)
174,313スイスフラン買い、200,000米ドル売り	2023年12月20日	(401)
130,441,160チリペソ買い、150,000米ドル売り	2023年12月20日	(644)
4,629,321中国元買い、650,000米ドル売り	2023年12月20日	(1,122)
7,864,438,920コロンビアペソ買い、1,950,000米ドル売り	2023年12月20日	(9,431)
3,646,401チェココルナ買い、150,000ユーロ売り	2023年12月20日	(239)
1,750,000ユーロ買い、1,529,647ポンド売り	2023年12月20日	(23,702)
1,950,000ユーロ買い、2,134,287米ドル売り	2023年12月20日	(8,766)
2,500,000ユーロ買い、61,271,355チェココルナ売り	2023年12月20日	(18,319)
2,850,000ユーロ買い、2,744,654スイスフラン売り	2023年12月20日	(36,269)
3,200,000ユーロ買い、520,440,214円売り	2023年12月20日	(34,570)
6,000,000ユーロ買い、70,388,104スウェーデンクローナ売り	2023年12月20日	(177,163)
650,000ユーロ買い、248,508,814ハンガリーフォリント売り	2023年12月20日	(2,004)
7,725,000ユーロ買い、91,653,799ノルウェークローネ売り	2023年12月20日	(71,370)
850,000ユーロ買い、3,801,738ポーランドズロチ売り	2023年12月20日	(24,016)
300,000ポンド買い、380,607米ドル売り	2023年12月20日	(1,849)
293,998,622ハンガリーフォリント買い、775,000ユーロ売り	2023年12月20日	(4,187)
2,316,605,940インドネシアルピア買い、150,000米ドル売り	2023年12月20日	(912)
3,152,610イスラエルシェケル買い、850,000米ドル売り	2023年12月20日	(4,353)
170,865,389インドルピー買い、2,050,000米ドル売り	2023年12月20日	(1,734)
16,077,841円買い、100,000ユーロ売り	2023年12月20日	(178)
205,866,577円買い、1,400,000米ドル売り	2023年12月20日	(6,590)
129,024,950韓国ウォン買い、100,000米ドル売り	2023年12月20日	(347)
18,631,863メキシコペソ買い、1,075,000米ドル売り	2023年12月20日	(6,932)
30,721,551ノルウェークローネ買い、2,625,000ユーロ売り	2023年12月20日	(14,934)
50,000ニュージーランドドル買い、30,960米ドル売り	2023年12月20日	(158)
373,418ペルーソル買い、100,000米ドル売り	2023年12月20日	(206)
2,769,542フィリピンペソ買い、50,000米ドル売り	2023年12月20日	(87)
1,521,798ポーランドズロチ買い、350,000ユーロ売り	2023年12月20日	(1,018)
13,394,670スウェーデンクローナ買い、1,175,000ユーロ売り	2023年12月20日	(2,492)
66,428シンガポールドル買い、50,000米ドル売り	2023年12月20日	(286)

6,133,204タイバーツ買い、175,000米ドル売り	2023年12月20日	(342)
1,113,788米ドル買い、900,000ポンド売り	2023年12月20日	(22,486)
1,223,252米ドル買い、2,050,000ニュージーランドドル売り	2023年12月20日	(39,654)
1,678,829米ドル買い、2,600,000豪ドル売り	2023年12月20日	(40,489)
1,700,000米ドル買い、2,227,746,445韓国ウォン売り	2023年12月20日	(20,614)
150,000米ドル買い、2,643,578メキシコペソ売り	2023年12月20日	(1,543)
2,000,000米ドル買い、70,534,332タイバーツ売り	2023年12月20日	(8,641)
2,050,000米ドル買い、1,827,633,590チリペソ売り	2023年12月20日	(42,657)
2,800,000米ドル買い、20,321,988中国元売り	2023年12月20日	(48,473)
2,800,000米ドル買い、88,833,879台湾ドル売り	2023年12月20日	(49,926)
200,000米ドル買い、16,694,856インドルピー売り	2023年12月20日	(131)
250,000米ドル買い、1,016,872,220コロンビアペソ売り	2023年12月20日	(916)
3,050,000米ドル買い、11,789,708イスラエルシェケル売り	2023年12月20日	(112,437)
3,450,000米ドル買い、4,643,889シンガポールドル売り	2023年12月20日	(25,404)
3,658,851米ドル買い、3,400,000ユーロ売り	2023年12月20日	(47,185)
300,000米ドル買い、16,768,813フィリピンペソ売り	2023年12月20日	(2,207)
350,000米ドル買い、1,319,855ペルーソル売り	2023年12月20日	(2,726)
550,000米ドル買い、8,711,324,870インドネシアルピア売り	2023年12月20日	(10,629)
6,450,000米ドル買い、5,767,044スイスフラン売り	2023年12月20日	(153,624)
7,650,000米ドル買い、10,487,869カナダドル売り	2023年12月20日	(82,199)
9,700,000米ドル買い、1,448,694,577円売り	2023年12月20日	(105,503)
14,856,920南アフリカランド買い、800,000米ドル売り	2023年12月20日	(12,920)
	\$	1,298,440

保有商品	額面価額	建玉	平均簿価	市場価格	未実現利益 ／（損失）
米国財務省短期証券 01/25/2024	3,150,000	買建て	3,127,360	3,124,601	\$ (2,759)
米国財務省短期証券 02/22/2024	3,650,000	買建て	3,611,433	3,605,883	(5,550)
米国財務省短期証券 03/21/2024	2,000,000	買建て	1,968,658	1,967,764	(894)
米国財務省短期証券 04/18/2024	2,900,000	買建て	2,845,073	2,841,998	(3,075)
米国財務省短期証券 05/16/2024	3,900,000	買建て	3,804,070	3,806,588	2,518
米国財務省短期証券 07/11/2024	2,468,000	買建て	2,388,162	2,392,203	4,041
米国財務省短期証券 08/08/2024	3,100,000	買建て	2,988,105	2,992,036	3,931
米国財務省短期証券 10/03/2024	1,712,000	買建て	1,639,992	1,641,050	1,058
			22,372,853	22,372,123	\$ (730)

先物	取引数	建玉	未実現利益
3ヶ月ユーロ EURIBOR 2026年3月	2	買建て	\$ 259
90日銀行手形 2025年6月	(2)	売建て	224
90日銀行手形 2025年3月	(4)	売建て	-
オーストラリア国債10年先物 2023年12月	66	買建て	69,827
CAC40株価指数先物 2023年12月	24	買建て	14,000
キャノラ油先物 (WCE) 2024年3月	(4)	売建て	1,075
CATTLE FEEDER先物 2024年1月	(6)	売建て	24,075
CATTLE FEEDER先物 2024年3月	(1)	売建て	3,938
CBOE VIX指数先物 2023年12月	(13)	売建て	21,799
CBOE VIX指数先物 2024年1月	(14)	売建て	16,167
ココア先物 2024年3月	76	買建て	306,110
ココア先物 2024年5月	31	買建て	110,420
ココア先物 - IC 2024年3月	27	買建て	104,947
ココア先物 - IC 2024年5月	16	買建て	36,140
ロブスタコーヒー先物 (10tn) 2024年3月	13	買建て	10,440
コーヒー商品先物 2024年7月	1	買建て	4,350
コーヒー商品先物 2024年3月	1	買建て	1,818
コーヒー商品先物 2024年5月	1	買建て	3,244
とうもろこし先物 2024年3月	(20)	売建て	4,149
とうもろこし先物 2024年5月	(26)	売建て	3,313
綿No. 2先物 2024年3月	(1)	売建て	550
ドイツDAX株価指数先物 2023年12月	1	売建て	5,935
ECX 排出権先物 2024年12月	(15)	売建て	113,828
ユーロストック50先物 2023年12月	23	買建て	15,726
FTSE100指数先物 2023年12月	(52)	売建て	13,084
FTSE中国A50株価指数 2023年12月	53	買建て	92
FTSEブルサマレーシア株価指数先物 2023年12月	(3)	売建て	113
FTSE台湾インデックス先物 2023年12月	28	買建て	5,280
FTSEイタリア株価指数先物 2023年12月	29	買建て	119,981
ハンセン株価指数先物 2023年12月	(25)	売建て	94,323
ハンセン中国株価指数先物 2023年12月	(46)	売建て	58,349
ICE 3ヶ月SONIA先物 2025年3月	(2)	売建て	300
KC HRW小麦先物 2024年3月	(33)	売建て	4,025
豚赤身肉先物 2024年4月	(23)	売建て	17,070
LME アルミニウム 先渡 2024年3月20日	(28)	売建て	38,950
LME ニッケル 先渡 2024年3月20日	(14)	売建て	87,416
LME ニッケル 先渡 2023年12月20日	-	買建て	77,507
LME 亜鉛 先渡(ドル) 2024年3月20日	(6)	売建て	12,116

先物	取引数	建玉	未実現利益
長期ギルト債先物 2024年 3 月	3	買建て	\$ 631
小麦先物 EURO 2024年 3 月	(50)	売建て	24, 109
MSCIシンガポール株価指数先物 2023年12月	(18)	売建て	795
ナスダック100 E-MINI 2023年12月	7	買建て	32, 485
天然ガス先物 2024年 2 月	(28)	売建て	97, 560
天然ガス先物 2024年 1 月	(48)	売建て	216, 590
日経225先物 (CME) 2023年12月	6	買建て	10, 625
日経225先物 (SGX) 2023年12月	17	買建て	11, 654
NY港渡し ULSD先物 2024年 2 月	14	買建て	5, 830
NY港渡し ULSD先物 2024年 3 月	4	買建て	1, 567
パラジウム先物 2024年 3 月	(6)	売建て	30, 350
Phelix ベース 四半期 2024年 4 月	(1)	売建て	238
赤小麦先物MGE 2024年 3 月	(7)	売建て	3, 725
S&Pカナダ株式60指数先物 2023年12月	31	買建て	66, 566
S&P500 E-MINI先物 2023年12月	5	買建て	12, 013
SGX 鉄鉱石62% 先物 2024年 1 月	26	買建て	3, 482
銀先物 2024年 3 月	2	買建て	2, 375
東証株価指数先物 2023年12月	39	買建て	42, 708
TTF 天然ガス先物 2024年 1 月	(10)	売建て	45, 245
英国 天然ガス先物 2024年 1 月	(5)	売建て	40, 834
米国長期国債 (CBT) 2024年 3 月	(4)	売建て	188
VSTOXX 先物 2023年12月	(7)	売建て	185
小麦先物 (CBT) 2024年 3 月	(35)	売建て	26, 250
WTI原油先物 2024年 2 月	(1)	売建て	630
WTI原油先物 2024年 1 月	(31)	売建て	72, 899
			\$ 2, 150, 474

先物	取引数	建玉	未実現 (損失)
3 ヶ月SOFR先物 2024年12月	(7)	売建て	\$ (6, 900)
3 ヶ月SOFR先物 2025年12月	(5)	売建て	(6, 950)
3 ヶ月SOFR先物 2024年 6 月	(13)	売建て	(7, 087)
3 ヶ月SOFR先物 2025年 6 月	(6)	売建て	(7, 000)
3 ヶ月SOFR先物 2024年 3 月	(18)	売建て	(5, 237)
3 ヶ月SOFR先物 2025年 3 月	(7)	売建て	(6, 500)
3 ヶ月SOFR先物 2026年 3 月	(5)	売建て	(5, 875)
3 ヶ月SOFR先物 2024年 9 月	(9)	売建て	(3, 575)
3 ヶ月SOFR先物 2025年 9 月	(5)	売建て	(6, 075)
3 ヶ月ユーロ EURIBOR 2024年12月	(8)	売建て	(9, 325)

先物	取引数	建玉	未実現（損失）
3 ヶ月ユーロ EURIBOR 2025年12月	2	買建て	\$ (123)
3 ヶ月ユーロ EURIBOR 2024年 6 月	(15)	売建て	(10, 659)
3 ヶ月ユーロ EURIBOR 2024年 3 月	(15)	売建て	(5, 826)
3 ヶ月ユーロ EURIBOR 2025年 3 月	(3)	売建て	(3, 036)
3 ヶ月ユーロ EURIBOR 2024年 9 月	(12)	売建て	(10, 263)
3 ヶ月ユーロ EURIBOR 2025年 9 月	1	買建て	(204)
90日銀行手形 2023年12月	(2)	売建て	(96)
90日銀行手形 2024年12月	(6)	売建て	(637)
90日銀行手形 2024年 6 月	(16)	売建て	(398)
90日銀行手形 2024年 3 月	(18)	売建て	(1, 689)
90日銀行手形 2024年 9 月	(10)	売建て	(605)
アムステルダム株価指数先物 2023年12月	(10)	売建て	(3, 387)
オーストラリア国債 3 年先物 2023年12月	(93)	売建て	(42, 620)
銀行引受手形先物 2024年12月	(2)	売建て	(2, 119)
銀行引受手形先物 2024年 6 月	(8)	売建て	(8, 595)
銀行引受手形先物 2025年 6 月	(1)	売建て	(1, 824)
銀行引受手形先物 2024年 3 月	(8)	売建て	(5, 537)
銀行引受手形先物 2025年 3 月	(2)	売建て	(2, 580)
銀行引受手形先物 2024年 9 月	(5)	売建て	(7, 057)
BIST30先物 2023年12月	(114)	売建て	(13, 708)
ポンド通貨先物 2023年12月	1	買建て	(288)
ブレント原油先物 2024年 2 月	4	買建て	(19, 820)
ブレント原油先物 2024年 3 月	1	買建て	(4, 730)
カナダドル通貨先物 2023年12月	(4)	売建て	(4, 449)
カナダ国債10年先物 2024年 3 月	(147)	売建て	(104, 875)
スイスフラン通貨先物 2023年12月	(1)	売建て	(4, 981)
銅先物 2024年 3 月	(10)	売建て	(36, 463)
ダウ工業株平均MINI eーCBOT 2023年12月	(2)	売建て	(3, 010)
ラッセル2000指数 Mini 先物 2023年12月	(9)	売建て	(24, 505)
ユーロbob1先物 2023年12月	(16)	売建て	(23, 447)
ユーロBTP先物 2024年 3 月	12	買建て	(8, 353)
ユーロ建ブズ先物 2023年12月	(36)	売建て	(130, 478)
ユーロ建Bux130年BND 2023年12月	(5)	売建て	(31, 343)
ユーローオーツ麦先物 2023年12月	(9)	売建て	(36, 222)
ユーロドイツ国債先物 2023年12月	(31)	売建て	(10, 275)
FTSEアフリカトップ40指数先物 2023年12月	(4)	売建て	(8, 108)
RBOBガソリン先物 2024年 2 月	23	買建て	(5, 863)
金100オンス先物 2024年 2 月	(3)	売建て	(10, 170)

先物	取引数	建玉	未実現（損失）
ICE 3ヶ月SONIA先物 2024年12月	(5)	売建て	\$ (1,452)
ICE 3ヶ月SONIA先物 2025年12月	1	買建て	(174)
ICE 3ヶ月SONIA先物 2024年6月	24	買建て	(2,698)
ICE 3ヶ月SONIA先物 2026年3月	1	買建て	(32)
ICE 3ヶ月SONIA先物 2024年9月	(11)	売建て	(2,698)
ICE 3ヶ月SONIA先物 2025年9月	1	買建て	(268)
IFSC NIFTY50指数先物 2023年12月	(15)	売建て	(8,468)
日本国債10年（OSE） 2023年12月	(6)	売建て	(50,805)
円通貨先物 2023年12月	(4)	売建て	(2,856)
韓国10年国債先物 2023年12月	(11)	売建て	(4,837)
韓国3年国債先物 2023年12月	(25)	売建て	(11,162)
韓国200種株価指数先物 2023年12月	(5)	売建て	(1,967)
豚赤身肉先物 2024年2月	(11)	売建て	(9,270)
生牛先物 2024年4月	1	買建て	(1,800)
生牛先物 2024年2月	6	買建て	(27,290)
生牛先物 2024年6月	(1)	売建て	(620)
LME アルミニウム 先渡 2023年12月20日	-	買建て	(34,004)
LME 銅 先渡 2024年3月20日	-	買建て	(7,161)
LME 銅 先渡 2023年12月20日	-	買建て	(20,245)
LME 鉛 先渡 2024年3月20日	2	買建て	(6,550)
LME 鉛 先渡 2023年12月20日	-	買建て	(6,228)
LME 亜鉛 先渡（ドル） 2023年12月20日	-	買建て	(47,441)
ガソリン先物 2024年2月	3	買建て	(5,025)
ガソリン先物 2024年1月	4	買建て	(6,950)
MSCI EAFE先物 2023年12月	(14)	売建て	(60,990)
MSCI EMGMKT先物 2023年12月	(42)	売建て	(43,510)
ストックホルム30 OMX株価指数先物 2023年12月	(285)	売建て	(196,299)
プラチナ先物（OSE） 2024年10月	4	買建て	(341)
プラチナ先物 2024年1月	3	買建て	(550)
菜種油先物 EURO 2024年2月	(9)	売建て	(2,273)
S&Pミッドキャップ 400 E-MINI 2023年12月	(4)	売建て	(41,850)
SET50先物 2023年12月	88	買建て	(9,071)
短期Euro-BTP先物 2023年12月	(38)	売建て	(36,026)
大豆先物 2024年3月	7	買建て	(350)
大豆粕先物 2024年3月	22	買建て	(16,940)
大豆油先物 2024年3月	(7)	売建て	(3,402)
スイスSPI200株価指数先物 2023年12月	(51)	売建て	(30,201)
粗糖先物（WORLD） 2024年3月	56	買建て	(48,787)

先物	取引数	建玉	未実現（損失）
粗糖先物（WORLD） 2024年 5 月	48	買建て	\$ (22, 702)
スイスSMI指数先物 2023年12月	(5)	売建て	(14, 476)
米国債10年先物（CBT） 2024年 3 月	(9)	売建て	(3, 547)
米国債 2 年先物（CBT） 2024年 3 月	(11)	売建て	(6, 336)
米国債 5 年先物（CBT） 2024年 3 月	(27)	売建て	(12, 203)
小麦先物（CBT） 2024年 5 月	(24)	売建て	(138)
白砂糖（ICE） 2024年 3 月	6	買建て	(5, 635)
			\$ (1, 468, 495)

5. お知らせ

管理会社は、2023年10月 6 日にその名称をクイーンズゲート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー・リミテッドからクイーンズゲートに変更しました。